

平成23年度
あきる野市環境白書



あきる野市

目次

はじめに	1
環境白書作成の背景	1
環境白書の構成	2
第1章 あきる野市の環境の現状	3
1 自然環境分野	3
2 生活環境分野	5
3 エネルギー環境分野	9
4 人の活動分野	15
第2章 環境基本計画の施策の進捗状況	20
1 環境基本計画とは	20
2 施策進捗状況評価	22
3 あきる野市環境委員会からの意見	46
資料編	
1 施策の進捗状況調査結果	48
2 「関連指標」の評価一覧	73
3 環境調査結果	75
4 放射線・放射性物質測定結果	79

はじめに

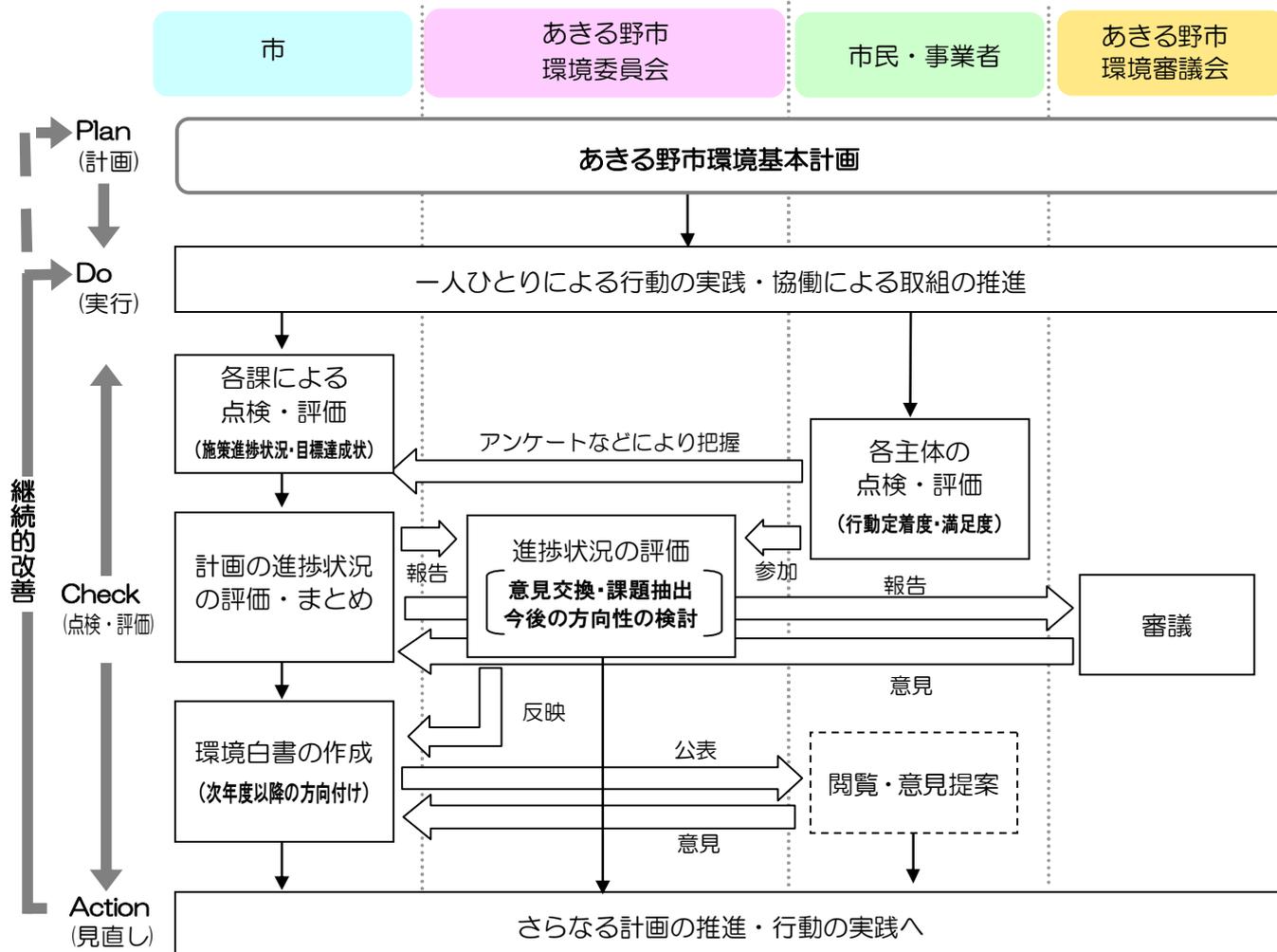
環境白書作成の背景

あきる野市では、平成 16 年 3 月に環境の保全、回復及び創造に関する基本理念を定め、市民・事業者・市の三者それぞれの責務や協働の責務等を定めた『あきる野市環境基本条例』を制定し、さらに同条例に基づき、平成 18 年 3 月に『あきる野市環境基本計画』（以下「環境基本計画」といいます。）を策定しました。平成 23 年 3 月には、環境基本計画の後期 5 か年の重点的に取り組むべき施策を定めるとともに、一般施策について一部改訂を行いました。

本書は、あきる野市の環境に関する現状及び環境基本計画で定めた施策の取組状況をとりまとめ、本市の環境行政の進捗状況を確認するとともに、今後の課題を把握することを目的としています。

また、環境基本計画（Plan）がどのように実行（Do）されたかを点検・評価（Check）した状況をまとめており、今後、環境基本計画のさらなる推進・行動の実践のために行う見直し（Action）のための資料として活用していきます。

●環境基本計画の進行管理の流れと役割



環境白書の構成

本書は、次の 2 章から構成され、平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月までの取組状況を中心にまとめています。

■第 1 章 あきる野市の環境の現状

あきる野市の自然環境分野、生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野ごとの現状についてまとめています。

■第 2 章 環境基本計画の施策の進捗状況

環境基本計画に掲げられている施策の進捗状況について報告しています。

■資料編

※組織名の表記について

本書は、平成 23 年度の報告であるため、平成 23 年度時点での体制で表記しています。

第1章 あきる野市の環境の現状

あきる野市は、都心から40～50km圏に位置し、秋川と平井川の二つの川を軸として、比較的緩やかな秋川丘陵・草花丘陵に囲まれる平坦部と、奥多摩の山々に連なる山間部から形成されています。平坦部は秋留台地からなり、南に秋川、北に平井川が流れ、市街地は二つの川沿いに形成しています。

本市は、市域の面積（7,334ha）の約6割を森林が占めており、多摩地域でも豊かな自然が残っています。その一方で、農地は年々減少を続け、宅地が増加傾向にあります。

本章では、あきる野市の環境の現状について、市が実施した環境調査結果を掲載するとともに、各分野（自然環境分野、生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野）の取組について概説します。

1 自然環境分野

自然環境保全の取組

1) 市民参加による自然環境調査の実施

市内の森林や雑木林、農地などにおいては、生産価値の低下、林業・農業関係者の高齢化・後継者不足などの様々な要因によって、適正な維持管理が十分に行われていない状況にあります。

市では、市域の自然環境の状況を把握し、自然環境の保全すべき地域の設定や保全策の検討を行うため、平成21年度から平成23年度までの3年間で、自然環境調査を実施しました。この調査は、本市の自然に専門的な知識を有する方をはじめ、多くの市民の協力により実施されました。調査結果は、報告書としてとりまとめるとともに（平成24年度中に発行予定）、あきる野の自然環境を身近に感じてもらうよう、リーフレット「知って守ろうあきる野の自然」で紹介しています。

平成24年度以降も引き続き調査を実施していきます。



<リーフレット「知って守ろうあきる野の自然」>

2) あきる野百景の周知・活用

本市にとって自慢となる、未来の子どもたちに残したい「おらがまちの自慢の場所」として選定した「あきる野百景」（平成 21 年度決定）を広く市民に周知するため、リーフレットを作成し、配布を行っています。また、「あきる野百景」を中心に、指定文化財や花の名所、里山などをめぐりながら、地域の良さを再発見し、郷土愛を育てていくことや健康づくりを目的とした「みんなで歩くあきる野百景めぐりマップ」を発行し、配布を行っています。これらは、市民の方はもとより、市外からの観光客の方々にも活用していただける内容となっています。



<リーフレット「あきる野百景」>



<あきる野百景めぐりマップ>



2 生活環境分野

1) 河川の水質

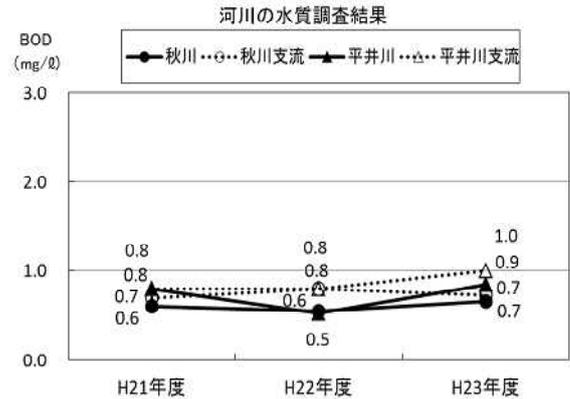
市では、良好な生活環境を維持するために、市内 18 か所で、年 4 回の水質調査を実施しています。

水質汚濁の指標となる BOD を見ると、秋川は良好な水質を維持しています。また、平井川も秋川よりわずかに値は高いものの良好な水質を維持しています。いずれの河川も平成 23 年度は環境基準を達成しています。

また、秋川支流及び平井川支流についても低い値を示しており、良好な水質が維持されています。

* BOD : 生物化学的酸素要求量

水中の汚物を分解するため微生物が必要とする酸素の量。
値が大きいほど水質汚濁は著しいといえる。



データは、各河川の複数地点で年間 4 回 (5・8・11・2 月) 実施している測定結果の平均値である。

河川環境基準

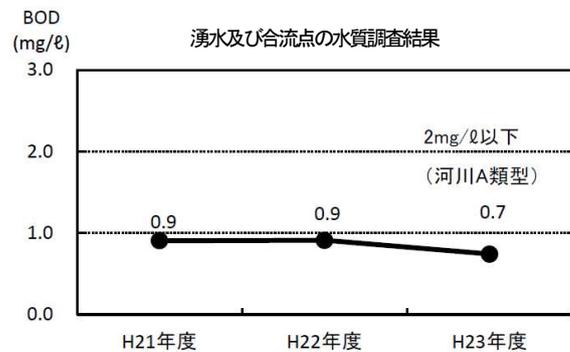
類型	河川名	環境基準
河川 AA 類型	秋川	1mg/l 以下
河川 A 類型	平井川	2mg/l 以下

2) 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質調査

本市は、河川沿いの崖線や秋留台地の縁の部分から湧水が流出しており、良好な自然環境を形成する大きな要素の一つとなっています。市では、年 1 回、湧水 17 か所、河川との合流点 19 か所で水質調査を実施しています。

各湧水での BOD をみると、低い値を示しており、良好な水質が維持されています。

今後も引き続き良好な水質が維持されるよう監視を続けていきます。



データは、各地点で実施している測定結果の平均値である。

3) 地下水汚染調査

地下水は、身近な資源として利用されるだけでなく、環境を形成する上でも重要な要素の一つとなっています。

市では、市街地を概ね 2 キロメートル四方に区切り、その中の 7 か所 (工場、事業所、住宅地近辺) の井戸水を採取し調査を行っています。

過去 3 年間、全ての地点において、環境基準を達成しており、良好な水質が維持されています。

なお、調査項目と環境基準は右表に示すとおりです。

地下水環境基準

調査項目	環境基準
トリクロロエチレン	0.03mg/l
テトラクロロエチレン	0.01mg/l
1, 1, 1-トリクロロエタン	0.3mg/l

4) 道路沿道調査

市では、市内の道路の4か所（国道411号線、都道166号線、五日市街道、睦橋通り）において騒音及び交通量を調査し、道路沿道環境の実態を把握しています。

調査結果では、要請限度を超過している場所はありませんが、今後、引き続き監視を続け、必要に応じて道路管理者等に騒音低減措置を要請していきます。

道路沿道調査結果

調査場所	*等価騒音レベル(db)		*要請限度			交通量(台/10分)	
	昼間	夜間	*区域	昼間	夜間	昼間	夜間
国道411号線	70	67	b	75	70	170	37
都道166号線	69	64	a	75	70	151	33
五日市街道	65	59	c	75	70	102	14
睦橋通り	66	62	b	75	70	220	48

データは、平成23年10月12~13日に実施した市内4か所の調査結果である。

- * 等価騒音レベル：一定時間に測定された多数の騒音データを、エネルギー量で平均して何dBの騒音に相当するかを求めたものである。
- * 要請限度：環境省令で定める自動車騒音又は道路交通振動の限度。区市町村長は、要請限度を超えることにより道路周辺の生活環境が著しく損なわれると認めるときは、東京都公安委員会に対し措置をとることを要請できることになっている。
- * a区域：第1・2種低層住居専用地域及び第1・2種中高層住居専用地域をいう。
- * b区域：第1・2種住居地域、準住居地域及び用途地域の定めのない地域をいう。
- * c区域：近隣商業地域、商業地域、準工業地域及び工業地域をいう。

5) 大気中ダイオキシン類調査

ダイオキシン類は、工業的に製造する物質ではなく、ものの焼却の過程などで自然に生成される物質です。

市では、あきる野市役所、五日市出張所の屋上において年1回の測定を行っています。過去3年間の測定結果では、両地点とも環境基準を達成しています。

大気中ダイオキシン類調査結果

調査場所	測定結果(*pg-TEQ/m3)			環境基準
	H21年度	H22年度	H23年度	
あきる野市役所	0.020	0.028	0.011	0.600
五日市出張所	0.016	0.022	0.011	

- * pg：ピコグラム。1兆分の1グラム
- * TEQ：毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位

6) 二酸化窒素調査

主要道路の交通量増加に伴う自動車の排気ガスの影響把握を目的として、年4回、市内22か所で測定しています。過去3年間の測定結果では、環境基準を達成しています。

二酸化窒素(NO₂)調査結果

測定結果(*ppm)			環境基準
H21年度	H22年度	H23年度	
0.020	0.018	0.015	0.040

データは、各道路で実施している測定結果の平均値である。

- * ppm：(parts per million)容積比や重量比を表す単位で、濃度や含有率を示す時に用い、100万分の1を1ppmという。例えばNO₂が1ppmとは、空気1m³中にNO₂が1cm³含まれる場合である。

7) 一般大気調査

浮遊粉じんは、大気中で気体のように長期間浮遊している粒子です。また、浮遊粉じんのうち粒径が $10\mu\text{m}$ 以下のものを浮遊粒子状物質といいます。

市では、市内15か所について、浮遊粉じんの全体量を測定しています。浮遊粉じん量については、環境基準が設定されていないため、参考として浮遊粒子状物質の環境基準と比較しましたが、過去3年間の測定結果では、環境基準を達成しています。

浮遊粉じん調査結果

測定結果(mg/m^3)			(参考) 浮遊粒子状物質 環境基準
H21年度	H22年度	H23年度	
0.0433	0.0316	0.0087	0.100

データは、各調査場所で行っている測定結果の平均値である。

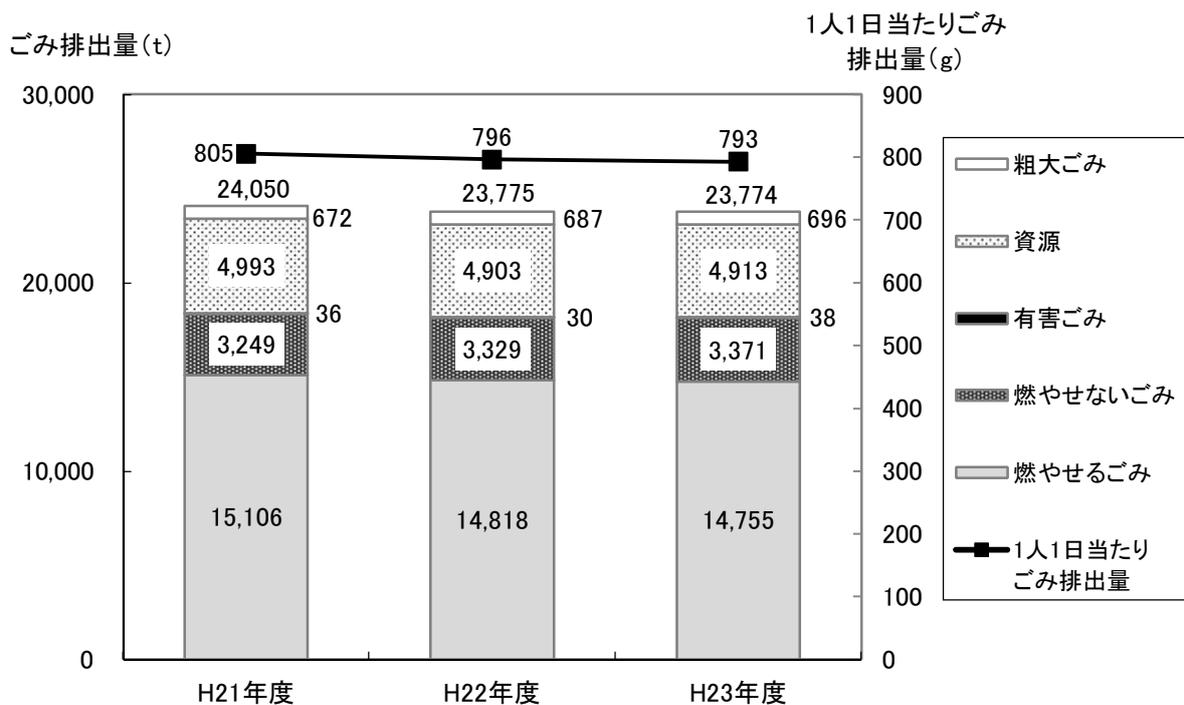
8) ごみ排出量

平成23年度のごみ総排出量は23,774トンで、前年度より約1トン減少のほぼ横ばいの状況です。1人1日当たりのごみ排出量は792.5グラムで、全国の1人1日当たりのごみ排出量994グラム(平成21年度)*より少なくなっています。

今後ごみの減量に向け、簡易包装の商品を選ぶ、ものは長く大切に使う、生ごみは捨てる前にひと搾りする、資源化できるものは資源として出すなど、生活の中で一人ひとりがごみを出さないようにすることが重要です。

*資料：「平成24年版 環境統計集」(環境省)

ごみ排出量の推移



9) 放射線・放射性物質の測定

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故を受け、市は、公共施設等の空間放射線測定、食品放射性物質検査を実施しています。

空間放射線については、平成 23 年 7 月に市内 68 か所の公共施設等の測定を実施し、その後、6 施設を定点として、週 1 回の測定を実施し、随時市のホームページに掲載するとともに、とりまとめたデータを市広報でお知らせしています。その後、国や他の自治体及び報道機関などからの情報に加え、



<放射線測定の様子>

文部科学省による航空機モニタリングの結果から市の西部地区の山間部において、比較的高い放射線量が示されたことや、幸い流通はしていませんでしたが、市内産の茶葉から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されるなど、市を取り巻く状況が変化し、市民の不安を少しでも解消するため、空間放射線量の測定を強化することとしました。平成 23 年 11 月から 12 月にかけては、定点 6 施設の建物の雨水が集まる場所やその出口、植物やその根元など、高い放射線量が予測されるポイントを週 1 回測定していくとともに、文部科学省による航空機モニタリングの調査結果を受け、市の要請に基づき、東京都で実施した西部地域の 8 か所についても定期的に測定し、その結果を公表しています。また、市立小中学校、公園等、市民生活に関わる公共施設等の高い放射線量が予測されるポイント 233 施設 718 地点を測定し、公表するとともに、国（環境省）が示している毎時 0.23 マイクロシーベルト（追加被ばく線量年間 1 ミリシーベルト）を超えた 28 施設 45 地点については、除染を実施し、経過観察を継続しています。

食品放射性物質検査については、東京都と J A 東京中央会で「都内産農産物の放射性物質の影響に係る対策会議」を設置し、平成 23 年 3 月から検査を開始し、あきる野産の農産物等も随時検査が実施され、茶葉から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されましたが、幸い流通はされていませんでした。その後、市では消費者庁から放射性物質検査機器を借受け、小・中学校や幼稚園・保育園等で使用される食材、秋川と五日市のファーマーズセンター及び瀬音の湯の直売所で販売される農産物について、平成 24 年 3 月から食品の放射性物質検査を実施しています。検査結果については、厚生労働省の定める基準値を超えるものではありませんでした。

引き続き、空間放射線量率の測定や食品等の放射能検査を実施し、随時公表を行い、市民の皆様の安全安心に取り組んでいきます。

市が実施した詳しい測定結果は、資料編に掲載しています。

3 エネルギー環境分野

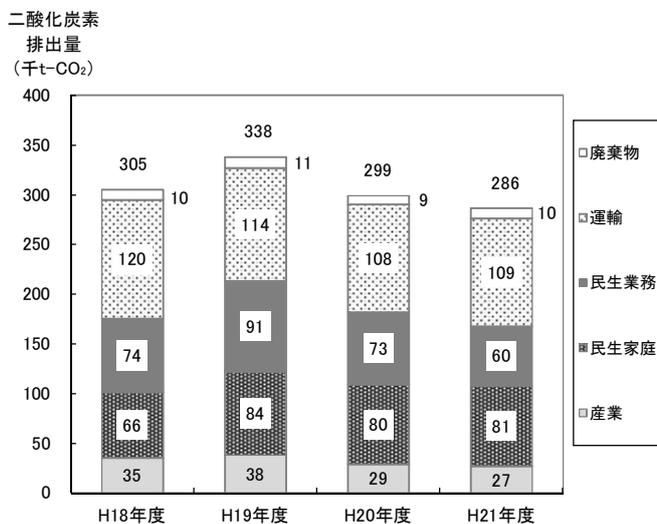
3-1 地球温暖化とあきる野市の温室効果ガス排出量

地球温暖化とは、大気中の二酸化炭素（CO₂）などの熱を吸収する性質のある「温室効果ガス」が、人間の経済活動などに伴って増える一方、森林破壊などによってCO₂の吸収が減少したことにより、地球全体の気温が上昇する現象のことです。温暖化の進行により、異常気象や自然生態系、農業への影響などが懸念されています。

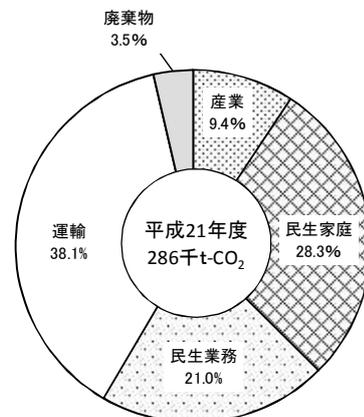
あきる野市の温室効果ガス排出量は、環境基本計画策定時（平成17年度）の33万3千トンCO₂から平成19年度に一旦増加しましたが、平成21年度は、平成20年度と比較すると3.9%減少し、約30万トンCO₂でした。

また、温室効果ガス排出量の96%を占める二酸化炭素についても、平成17年度の約32万4千トンCO₂から、平成21年度には約28万6千トンCO₂へ減少しています。平成21年度の二酸化炭素の排出内訳は、運輸部門が38.1%と最も多く、次いで民生家庭部門、民生業務部門となっています。

あきる野市における二酸化炭素排出量の推移



あきる野市における部門別二酸化炭素排出量の内訳



資料：「多摩地域の温室効果ガス排出量（1990年度～2009年度）」

（オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」）

3-2 市役所での温暖化対策の取組

市では、平成13年度から平成17年度までの5年間に渡り、「第一次地球温暖化防止対策実行計画」に基づき、温暖化対策に取り組んできましたが、より一層の温暖化防止対策を推進するため、平成20年7月に「第二次地球温暖化防止対策実行計画」を策定し、取組を進めています。

■あきる野市第二次地球温暖化防止対策実行計画

計画期間：平成20年度～平成24年度（5年間）

計画目標：施設の増改築等を見込んだ平成24年度における温室効果ガス排出量 5,316 トン CO₂（基準排出量）より6%削減（目標の達成は、気候差を考慮し、平成23年度及び平成24年度における温室効果ガス排出量の平均値から判断する。）
→目標排出量 4,997 トン CO₂

取組内容：○公用車の低公害車・良燃費車の導入率を把握し、向上させる。
○機器の省エネルギーモードの設定の適用などにより、使用面での省エネルギーを行う。
○照明か所を全て確認し、不用部分の間引きの実施又は常時消灯を徹底する。など

温室効果ガス排出量の推移

年 度	H19	H20	H21	H22	H23	目標値
総排出量 (トンCO ₂)	5,020	4,835	4,533	4,706	4,184	4,997

推移のとおり、平成23年度の温室効果ガス排出量は目標を達成しています。今後も、省エネルギーに配慮した取組を進め、温室効果ガス排出量のさらなる削減を目指します。

3-3 あきる野エコ活動

市では、平成21年10月から、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」に代わり、市独自の環境マネジメントシステム「あきる野エコ活動」を策定し、取組を進めています。エコ活動は、本庁舎のみを対象にしていたISO14001に比べ、対象施設を27の公共施設に拡大するなど、各職場の一人ひとりの意識やノウハウを高め、より積極的に取り組むことで、さらなる省エネルギー、省資源、廃棄物削減などを目指しています。特に平成23年度は東日本大震災をきっかけに、より節電等に取り組みました。



<あきる野エコ手帳>

3-4 エコドライブ講習会

重点的に取り組むべき施策として定められているエコドライブをさらに進めるため、市職員を対象にエコドライブ講習会を開催しました。

■実技講習会

東京都環境局及び拝島自動車教習所の協力を得て、講習会を実施しました。

講習会終了後、参加者に対し、講習前・講習後の数値の比較や CO₂ 削減量等を示したエコドライブ講習診断書を発行しました。

開催日：平成 24 年 1 月 23 日

会 場：拝島自動車教習所

参加者：6 人



<エコドライブ実技講習会の様子>

■座学講習会

経済産業省エコドライブ普及推進事業を活用し、意識啓発のための講習会を実施しました。

開催日：平成 24 年 2 月 7 日

会 場：あきる野市役所

参加者：第 1 回 59 人

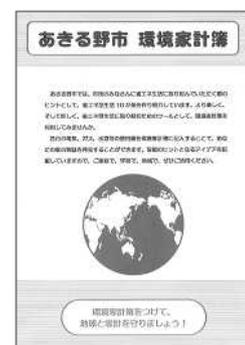
第 2 回 57 人



<エコドライブ座学講習会の様子>

3-5 環境家計簿

平成 20 年度に策定した「省エネ型生活 10 か条」をさらに普及させるため、各家庭で月々のエネルギー使用量からどのくらいの温室効果ガス（二酸化炭素）が排出されているかを記録する「環境家計簿」の普及を図っています。月々のデータを記録することで、私たちの生活から排出される二酸化炭素の量の目安がわかり、省エネに対する意識のさらなる向上を目指します。



<あきる野市 環境家計簿>

3-6 省エネモニター

市では、省エネモニターの募集を行っています。また、平成 22 年度からは、新エネルギー・省エネルギー利用機器設置費補助金の交付を受けた方もモニターに加わり、平成 23 年度には 92 人の省エネモニターが、「省エネ型生活 10 か条」を中心とした省エネ生活に取り組んでいます。モニターから提

出されたデータは、家庭ごとにグラフ化したものや省エネのひと工夫をとりまとめ、各モニターにフィードバックするとともに、CO₂ 排出量やエネルギー使用量の平均値を市ホームページで公開しています。

平成22年度登録モニター 私のひと工夫

平成22年度にご登録いただいたモニターの皆様が各家庭で実践している省エネ活動「私のひと工夫」をまとめました。

エアコン・冷暖房の工夫

- 車や家のエアコンは極力使わない。
- エアコンの使用時間を短くする。
- 埋め込み型エアコンなどで、個別ブレーカーで落とす。
- 帰宅後、すぐにエアコンを入れず、窓を開け室内の熱を追い出してから入れる。
- 冷暖房を使用するときは、なるべく一部屋にする。
- 暖房は1℃でも下げて、夏の冷房は1℃上げて使用するようにする。
- 冷暖房を使用するときは、ドアの開閉に気をつけて、効率性に配慮する。
- 冷暖房を使用するときに、電源コンセントにタイマースイッチを使用し、「連続利用」せずに使用する。
- ファンヒーター（灯油）は朝1時間のみ使用。
- 夏は涼しい、冬は暖かい服装でエネルギー消費を少なくするよう常に注意を払い、行動する。
- 暖房はなるべく使わず湯たんぽで代用。

家電の工夫

- 冷蔵庫の設定温度に気をつける。
- 省エネタイプの家電に買い替える。
- 使用していない電化製品のコンセントを抜く。
- 照明をLED（省エネ型電球）に替えた。
- 電気ポットの使用を止めて、保温ポット（魔法瓶等）を使用。
- 炊飯器の保温をやめる。
- 洗濯機は全自動でも手動で、時間も水も節約できる（毎日の洗濯物は軽い汚れなので、あまり長くすると布も傷むのですぎも一度にしている）。
- トイレの便座の電気を消し、カバーをつける。
- 庭用のソーラーライトを室内に設置、室内灯として活用。リビング、廊下などに活用。停電時にも活用。
- テレビゲーム機は撤去した。
- 電気がまきを使用せず、ガスで炊飯。

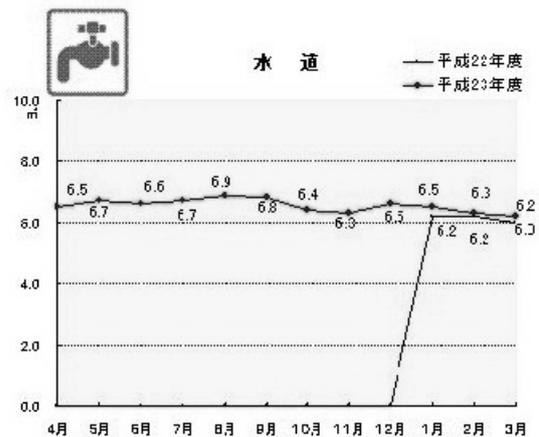
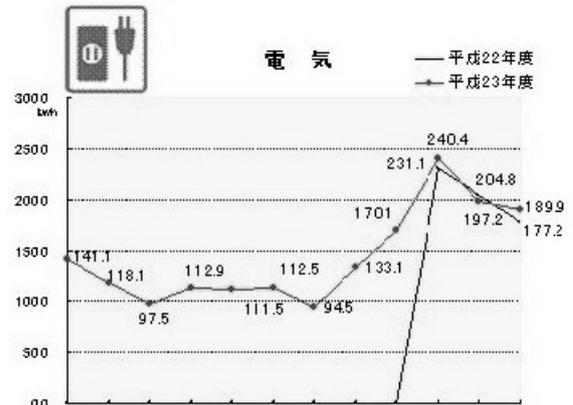
自動車の工夫

- 自動車の使用を控える。
- 自動車を使わず、徒歩、公共交通機関や自転車を活用する。
- 自動車に乗るときは必要以上の荷物は積まない。
- 自動車の暖気運転は極力短くする。
- 自動車をハイブリット車に替えた。

お風呂の工夫

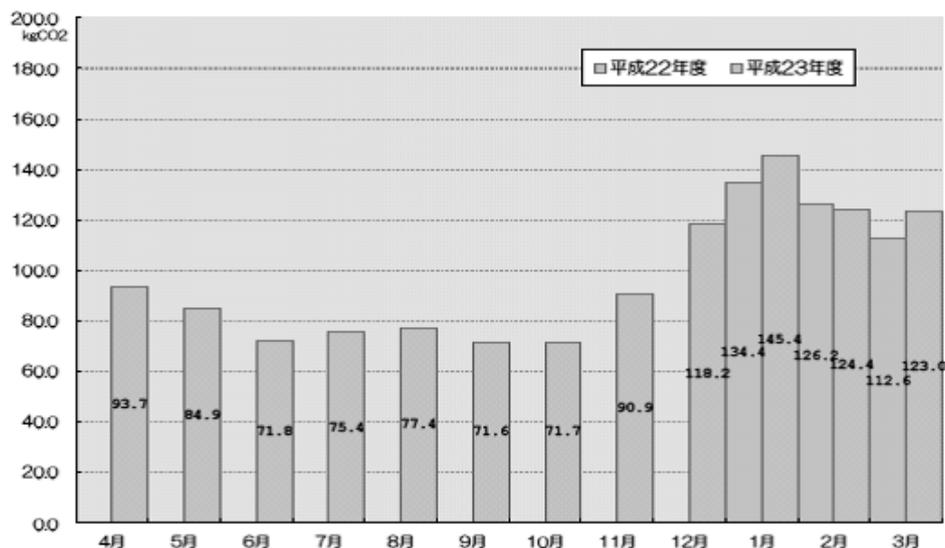
- 入浴するときは間をあげずに続けて入る。
- 入浴頻度を半減し（毎日一風呂）、暖かい時期はシャワーを利用する。
- シャワーを使用せず、浴槽の湯を使用している。
- 風呂の残り湯を洗濯・打ち水・トイレなどに利用している。
- 家族全員でお風呂に入る。

あきる野市環境経済部環境課環境・緑化係 042-558-1111 内線2515



<省エネモニターへのフィードバック>

1人あたりの二酸化炭素（CO₂）排出量

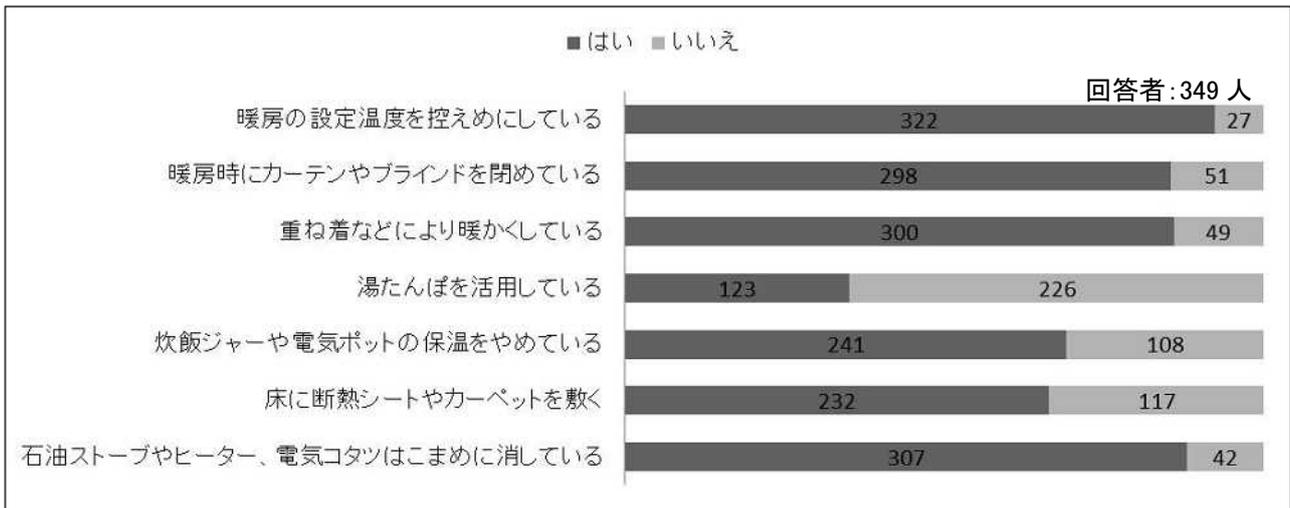


<省エネモニター結果（市ホームページより）>

3-7 冬の省エネ・節電アンケート

あきる野市環境委員会では、市民の「冬の省エネ・節電」の取組状況を調査するため、平成 23 年 11 月 12 日（土）、13 日（日）に開催された産業祭会場において、来場者を対象にアンケート調査を実施し、349 人の方から回答を得ました。調査では、次の項目の中でこれまで取り組んでいるものについて質問しました。調査の結果、多くの方が冬も省エネに関心を持ち、取り組んでいることがうかがえました。

<アンケート結果>



3-8 新エネルギーの活用

公共施設では、平成 21 年度に前田小学校に 3.96kw、御堂中学校に 15kw、平成 22 年度には屋城小学校に 3.08kw の太陽光発電システムを設置し、電力使用量の一部を賄っています。

また、平成 23 年度は、家庭や事業所での新エネルギーの導入を促進するため、太陽エネルギー見本市（詳細は 3-9 に記述）を開催し、情報提供や PR を行うとともに、家庭における新エネルギー・省エネルギー機器設置の際の補助を行いました。

3-9 太陽エネルギー見本市

市では、市内の新エネルギー・省エネルギー機器の普及拡大を目指し、平成 23 年 5 月 21 日（土）に開催されたリサイクルフェア会場内で、東京都の協力を得て「太陽エネルギー見本市」を実施しました。

太陽光発電システムや太陽熱利用機器の紹介をするとともに、太陽熱による手湯の体験や太陽光発電で動く玩具の展示を行いました。また、市で実施する家庭における新エネルギー・省エネルギー機器設置補助事業やあきる野商工会の住宅改修工事等助成事業の情報提供を行いました。



<太陽エネルギー見本市の様子>

3-10 東日本大震災に伴う電力不足への対応

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響による電力不足への対応として、市では、公共施設における節電や家庭・事業者への呼びかけなど、夏期・冬期を通じて対策を実施しました。

1) 夏の節電対策

市では、国の「夏期の電力需給対策」及び東京都からの節電啓発などの実施要請を受け、夏期における 15%以上の節電目標と目標達成のための節電プログラムを設定し、徹底した節電に取り組みました。また、家庭や事業者に対しても、市広報やホームページ、チラシの配布等を通じて、更なる節電の呼びかけを行いました。

【節電プログラムの内容（一部）】

照明の節減、エレベーターの利用自粛、28℃の適温冷房の設定、クールビズの早期導入・期間延長、グリーンカーテンの試行、ノー残業デーの追加など

【市の推進活動】

市職員全員が「COOLBIZ」のロゴを入れた名札を着用し「節電クールビズ」を推進しました。

2) 冬の節電対策

夏に引き続き、電力需要が高くなる冬期においても、市では具体的な取組項目を定め、節電対策に取り組みました。また、家庭や事業所へも市広報やホームページ、パンフレットの配布を通じて、節電の呼びかけを行いました。

【市の主な節電対策】

照明の節減、エレベーターの利用自粛、ウォームビズの導入など

【市の推進活動】

市職員全員が「WARMBIZ」のロゴを入れた名札を着用し「節電ウォームビズ」を推進しました。

4 人の活動分野

4-1 一斉清掃

市では、町内会・自治会、秋川漁業協同組合（五日市地区）、PTA 等の協力により、春、秋の年2回、市内各地の道路や河川などの清掃を実施しています。

なお、主な活動実績は、次のとおりです。

あきる野市一斉清掃概要

	平成 23 年 春	平成 23 年 秋
参加人数(人)	15,356	15,423
回収量(t)	26.32	27.98



<一斉清掃の様子>

4-2 リサイクルフェア

市では、ごみ減量化・資源化をはじめとする環境問題について、資源循環型社会の構築に向けて、市民のみなさんの意識の啓発を図ることを目的とし、春、秋の年2回、リサイクルフェアを実施しています。また、第33回リサイクルフェアでは、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の一環でカーボン・オフセットクレジットを共同購入し、イベントで排出される温室効果ガスのうち、資機材の運搬、発電機の使用、関係者や来場者の会場への移動で排出される温室効果ガス 2.0 トン CO₂ を対象に、岩手県釜石市が行っている森林保全活動の取組（J-VER）で埋め合わせ（オフセット）しました。

なお、主な活動実績は、次のとおりです。

あきる野市リサイクルフェア概要

	第 32 回	第 33 回
実施日	平成 23 年 5 月 21 日(土)	平成 23 年 11 月 12 日(土)
会 場	都立秋留台公園	都立秋留台公園
参加者数(人)	4,000(推定)	12,000(推定)

■主な催事

- ・ フリーマーケット
- ・ リサイクル品（家具等）再利用コーナー
- ・ 修理屋さんコーナー（おもちゃ修理、包丁研ぎ）
- ・ ごみ会議コーナー（生ごみ堆肥化講習会、落葉堆肥化の啓発）
- ・ 環境問題啓発用絵画（凶画）・ポスター展示コーナー
- ・ 環境コーナー 廃食用油石けんの無料配布 など



＜リサイクルフェアの様子＞



＜カーボン・オフセットの啓発ポスター＞

4-3 産業祭「エココーナー」

市では、市民に環境に対する意識を高めてもらうため、産業祭会場内に、「エココーナー」を設けています。平成 23 年 11 月 12 日（土）、13 日（日）に開催された産業祭では、市内の事業者に出店（展）してもらうとともに、あきる野市環境委員会でもブースを設けました。ブースでは、「冬の省エネ」をテーマに、冬の省エネ・節電アンケート調査を実施（調査結果は P.13 3-7 に掲載）するとともに、省エネ啓発に関するリーフレット「試してみよう！おうちの冬の省エネ」を作成し、配布しました。また、ウォームビズや体を温める食材の紹介、生姜黒糖紅茶の試飲、環境委員が実践している環境により取組の紹介などを行いました。



＜産業祭「環境展」の様子＞



＜リーフレット「試してみよう！おうちの冬の省エネ」＞ <環境により取組（環境委員編）>

4-4 港区環境交流事業

市では、戸倉の刈寄地区に「みなと区民の森」を設けるなど、これまで港区と交流を図ってきています。こうしたことから、海に面した自然を有する港区と山や川などの自然を有するあきる野市のそれぞれの特性を活かし、平成 18 年度から子どもたちの交流事業を行っています。

平成 23 年度は、11 月 19 日（土）に 7 人の参加を得て、六本木ヒルズで港区の先進的な環境への取組を学ぶとともに、あきる野市の間伐材と伝統和紙「軍道紙」を利用し、ランプシェード作りをしました。



<見学の様子>



<ランプシェード作りの様子>

4-5 自然環境調査におけるイベント

市では、平成 21 年度から実施している自然環境調査の中で、市民の方により自然を知ってもらうため、また、より自然に親しんでもらうために、市民が参加できる体験型のイベントを実施しています。

平成 23 年度は、雨武主神社の森の調査と「まぼろしの五日市湖」をテーマに地質や化石の観察会を行いました。

自然環境調査におけるイベントの概要

	ガサガサで生き物調べ	雨武主神社の森を調べよう	自然観察会
実施日	平成 23 年 8 月 27 日	平成 23 年 11 月 23 日	平成 23 年 11 月 26 日
参加人数	中止(雨天・増水)	6 人	16 人
主催	自然環境調査部会 動物班	自然環境調査部会 植物班	自然環境調査部会 地質班



<雨武主神社での胸高直径計測の様子>



<自然観察会での地質観察の様子>

4-6 ごみ会議

「あきる野ごみ会議」は、市民・事業者・市が協働し、ごみ発生抑制の推進などを目的として、平成16年11月に設置されました。

ごみの減量やリサイクルの重要性を市民にPRするための「ごみ情報誌（へらすぞう）」の発行や市民・事業者・市はそれぞれどのように行動し、どのように協力できるのか、などを考えながら、ごみ減量に向けての活動をしています。

なお、主な活動実績は、次のとおりです。

■平成23年度ごみ会議活動実績

- ・全体会議 11 回開催
- ・生ごみ減量PR（生ごみの堆肥化講習会）
- ・落ち葉堆肥化の推進 など



ごみ情報誌「へらすぞう」

4-7 清流保全

市では、市内の河川の浄化及び河川環境の保全を図ることにより、良好な水質及び水量が確保された流水と親しみある水辺環境とが織り成す清流を守り残すため、平成15年3月に清流保全条例を制定し、「清流保全協力員」を設置しました。

清流保全協力員は、町内会・自治会の代表、市内の河川に関係する団体等からの代表による計24人で組織しており、河川の水質調査、ホタルの生息状況の調査などを実施しています。

4-8 ホタルの里づくり

市では、地域における自然環境の保全と住みよいまちづくりを推進するため、町内会・自治会を中心として行うホタルの里づくり事業について、補助をしています。平成23年度は、3団体に補助を行い、1団体に公園内の清掃や水路の美化などによるホタルの保全活動を委託しました。

また、商工観光課においても、地域活性化の一環として1団体に対し支援を行っています。

4-9 違反広告物撤去

市内の道路、水路、公園などに違法に設置された立看板や広告物などについて、平成17年2月に、市民と市が協働で撤去し、安全な歩行者空間の確保及び美観風致の維持を図り、市民の生活環境を保全することを目的に「あきる野市違反広告物撤去協力員制度」を制定しました。平成24年3月現在202人の方が登録し、日々活動を実施しています。市でも、毎月の道路パトロール等において違法看板撤去を実施しています。平成23年度は市民と市で合わせて1,730枚を撤去しました。

4-10 環境委員会

あきる野市環境委員会は、環境基本計画の望ましい環境像である「歩きたくなるまち 住みたくなるまち あきる野」の達成を目指す、市民、事業者、市の協働組織で、市民 12 人（公募 6 人、地区の代表 6 人）、事業者等 6 人、市職員 2 人）の計 20 人で構成しています。環境基本計画の施策の進捗状況の点検評価や、市民・事業者・市の協働による取組の企画や推進を行っています。

平成 23 年度は、計 4 回の会議を開催しました。

会議開催日と主な会議の内容

	開催日	主な会議の内容
第 4 回	平成 23 年 9 月 28 日	環境白書（環境基本計画の重点施策の進捗状況の評価等）について審議・検討を行いました。
第 5 回	平成 23 年 11 月 4 日	環境白書（環境基本計画の重点施策の進捗状況の評価等）について審議・検討を行いました。
第 6 回	平成 24 年 1 月 30 日	環境基本計画の施策進捗状況の点検評価の仕方について検討を行いました。
第 7 回	平成 24 年 3 月 27 日	環境基本計画の施策進捗状況の点検評価の仕方、グリーンカーテンの取組について検討を行いました。

第 2 章 環境基本計画の施策の進捗状況

本章では、環境基本計画の概略とともに、重点施策と一般施策に関する進捗状況について報告します。

1 環境基本計画とは

1-1 概要

市では、あきる野市環境基本条例に基づき、平成 18 年 3 月、環境基本計画を策定しました。

環境基本計画は、持続的発展が可能な社会の実現に向けて、環境の保全、回復及び創造に関する施策の方向性と具体的な展開方策などを示すとともに、市民・事業者・市の各主体がとるべき行動を示すことを目的としています。あきる野市総合計画の環境分野を担う計画であり、市の環境行政の根幹となるものです。

平成 23 年 3 月には、環境基本計画の後期 5 か年の重点的に取り組むべき施策を定めるとともに、一般施策について一部改訂を行い、「あきる野市環境基本計画【改訂版】」を策定しました。

1-2 望ましい環境像

環境基本計画では、あきる野市の環境の特性と課題を踏まえ、21 世紀半ばを見据えた望ましい環境像と、その実現に向けた 4 つの分野別の目標を設定しています。

【あきる野市の望ましい環境像】

歩きたくなるまち 住みたくなるまち あきる野

《自然環境分野の目標》

豊かな緑に囲まれた清流を次世代に引き継ぐ

《生活環境分野の目標》

公害のない、魅力あふれる循環型のまちとする

《エネルギー環境分野の目標》

わがまちから地球温暖化に対応する

《人の活動分野の目標》

市民・事業者・市が協働して行動していく

1-3 施策の体系

環境基本計画では、望ましい環境像の実現に向けた分野別の目標の実現に向けて、実施すべき施策を示しています。

分野別の目標	目標達成に向けた方針	施策	重点施策
《自然環境分野》 豊かな緑に囲まれた清流を次世代に引き継ぐ	1. 豊かな水と緑を守る仕組みの充実	(1) 市内全域の自然環境の実態把握と評価	①あきる野の自然を知る ②あきる野の自然を守る ③郷土の恵みの森を守り育む
		(2) 実効性の高い保全の仕組みづくり	
		(3) 市民の声が生かせる、環境に配慮したまちづくりの実現	
	2. 骨格をなす5つの環境軸の保全	(1) 森林の保全と活用	
		(2) 里山の保全と活用	
		(3) 秋留台地一帯の農地の保全と活用	
		(4) 秋川・平井川流域の総合的な保全	
		(5) 地質・地形の保存と活用	
《生活環境分野》 公害のない、魅力あふれる循環型のまちとする	1. 健康で安全な循環型のまちの実現	(1) 公害の防止	①美しい川を守り育む ②農地・農業を守る ③資源を循環させる ④美しいまちをつくる
		(2) 循環型社会の構築	
	2. 身近な自然を生かしたまちの創造	(1) 市街地における緑の確保	
		(2) 魅力ある川づくり	
	3. 美しく清潔なまちの形成	(1) 景観の整備	
		(2) 清潔なまちづくり	
《エネルギー環境分野》 わがまちから地球温暖化に対応する	1. 省エネルギーの推進	(1) 市全体での省エネルギーの推進	①省エネルギーを進める ②新エネルギーを導入する
		(2) 自動車対策	
		(3) 電力使用量の削減	
	2. 新エネルギーの導入	(1) 新エネルギー技術の活用	
		(2) リサイクル型エネルギーの利用	
		(3) 最新動向の把握及び調査研究	
3. 森林・緑地の拡大によるCO ₂ の吸収	(1) 森林の保全		
	(2) 緑化の推進		
《人の活動分野》 市民・事業者・市が協働して行動していく	1. 市民・事業者・市の協働による取組の推進	(1) 情報の共有	①人づくりを進める
		(2) 環境教育の推進	
		(3) 環境パートナーシップの形成	
		(4) 様々な仕組みの検討	

2 施策進捗状況評価

重点施策、一般施策・事業の進捗状況、評価結果を報告します。

<凡例>

【重点施策、一般施策・事業の評価基準について】

A：定常的实施	継続して事業が実施されている。
B：一部着手	計画策定など具体的な検討を行っている。または、平成27年度までの計画期間で、毎年実施する事業ではないが、順次実施している。
C：未着手	予算確保が困難、組織・人員が不十分でない、関連事業の完了が前提となっているなどの理由で、事業に着手できていない。
F：完了	事業が完了（終了）した。

【重点施策の展開スケジュールの実績について】

A：定常的实施	
B：一部着手	
C：未着手	
F：完了	完了（終了）

※重点施策の展開スケジュールに対し、進捗状況の評価を左図のように示しています。

自然環境分野

2-1 豊かな水と緑を守る仕組みの充実

【目標】

- ・ 市内の自然環境が適正に評価されている。
- ・ 市内の豊かな自然の保全に、みんなで取り組んでいる。

(1) 市内全域の自然環境の実態把握と評価

- ① 自然環境調査の実施
(→重点：あきる野の自然を知る)
- ② 適正評価と保全の方向付け
(→重点：あきる野の自然を守る)

＜重点施策の展開スケジュール＞

	年 度					平成 23 年度
		H23	H24	H25	H26	H27
市域全体の自然を知る						
・自然環境調査の実施 〔環境課〕	予定	調査完了	フォロー調査 検討・実施			A
	実績	調査完了				
・あきる野百景などの周知・活用 〔環境課・商工観光課〕	予定	周知・活用				A
	実績					
・生物多様性についての情報提供・普及啓発（講座、イベントの開催等） 〔環境課・環境の森推進室〕	予定	検討・実施				A
	実績					
自然の保全・管理活動の実践						
・あきる野版 RD 種の選定 〔環境課・環境の森推進室〕	予定	資料収集・分析・選定				B
	実績					
・適正評価及びモデル地区等の選定 〔環境課・環境の森推進室〕	予定	検討・選定				B
	実績					
・モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施 〔環境課・環境の森推進室〕	予定	検討・実施				B
	実績					
・生物多様性の保全のための方針の確立 〔環境課・環境の森推進室〕	予定	調査・検討・策定				B
	実績					
・外来生物対策 〔環境課・環境の森推進室〕	予定	調査・検討・実施				A
	実績					

（2）実効性の高い保全の仕組みづくり

- ① 新たな緑地保全制度の確立
- ② 新たな保全制度を支える仕組みづくり

＜施策・事業＞

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 23 年度 評価
①	緑地保全制度の実態の評価（評価の指針等の作成、実態評価）	環境課	B
	実効性の高い保全制度の検討・確立	環境課 環境の森推進室	B
②	財源の強化・拡充	環境課 環境の森推進室 財政課	A
	ボランティアの育成・活用	環境課 環境の森推進室	A
	多様な主体が連携した体制・仕組みづくり	環境課 環境の森推進室 農林課	A

(3)市民の声が生かせる、環境に配慮したまちづくりの実現

- ① 計画段階での市民参加の仕組みづくり
- ② 環境に配慮したまちづくりの方針づくり

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成23年度 評価
①	開発計画への市民参加の仕組み化	都市計画課	A
	景観形成モデル地区の設定	都市計画課 区画整理推進室	C
②	自然環境に適合した既存計画、線引き・用途地域等の見直し	都市計画課	B
	環境配慮型まちづくり方針・指針の策定	都市計画課	C
	地域別環境づくりの方針の活用（地区計画制度の活用）	都市計画課 区画整理推進室	A

2-2 骨格をなす5つの環境軸の保全

【目標】

- 本市の自然の骨格である、森林、里山、農地、河川と、これらの基盤である地質・地形をみんなで守っている。

(1) 森林の保全と活用

- ① 森林の多面的な評価の実施
- ② 新たな保全・活用方策の検討
(→重点：郷土の恵みの森を守り育む ー特性を活かした森づくりー)
- ③ 森林の保全・活用に向けた体制づくり
(→重点：郷土の恵みの森を守り育む ー構想実現に向けての仕組みづくりー)

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 23 年度 評価
	H23	H24	H25	H26	H27	
次世代につなぐ森づくり						
・地域の魅力を高める森づくり（モデルプラン）の推進 [環境の森推進室]	予定	実施				A
	実績					
・古道・散策コース及び景観の整備 [環境の森推進室]	予定	実施				A
	実績					
・森の魅力発信 [環境の森推進室]	予定	情報発信				A
	実績					
森づくりの体制の整備						
・町内会・自治会等との連携 [環境の森推進室]	予定	連携				A
	実績					
・森林レンジャー・森林サポートレンジャー組織の整備 [環境の森推進室]	予定	整備・活用				A
	実績					
・郷土の恵みの森づくり事業基金の運用 [環境の森推進室]	予定	運用				A
	実績					

<施策・事業>

環境基本計画の内容		担当課	平成 23 年度 評価
関連する施策・事業			
①	森林の環境面からの機能評価	農林課 環境の森推進室	A
	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（モデル地区による「美林の里」づくり）	農林課 環境の森推進室	A
②	森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進	農林課	A
	森林資源の需要の喚起（新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用）	農林課	A
③	市民参加の森づくり事業の推進（ボランティアの育成・活用の仕組みづくり）	農林課 環境の森推進室	A
	活動資金の確保（緑地保全基金の活用の検討（再掲））	農林課 環境課 環境の森推進室 財政課	A
	森林保全・活用のための整備の推進	農林課 環境の森推進室	A

(2)里山の保全と活用

- ① 里山の多面的な評価の実施
- ② 里山環境の保全・活用方策の検討
- ③ 里山の保全・活用に向けた体制づくり

<施策・事業>

環境基本計画の内容		担当課	平成 23 年度 評価
関連する施策・事業			
①	里山の現状調査の実施	環境課 環境の森推進室	B
	評価と利活用方針の検討	環境課 環境の森推進室	B
②	モデル地区での保安全管理活動の実践	環境課 環境の森推進室	A
	各地域での保全策の検討	環境課 環境の森推進室 農林課	A
	緑地保全基金の活用（再掲）	環境課 環境の森推進室 財政課	A
③	ボランティアの育成・活用（再掲）	環境課 環境の森推進室 生涯学習推進課 公民館	A
	学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施	環境課 環境の森推進室 指導室	A

(3)秋留台地一帯の農地の保全と活用

- ① 農地の多面的な評価の実施
- ② 新たな保全・活用方策の検討
- ③ 多様な担い手の育成

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 23 年度 評価
①	農業振興計画との整合	農林課	A
	農地の環境面からの機能のPR	環境課	C
②	中山間地域ふれあい農業の検討	農林課	C
	あきる野産の農産物の利用拡大の検討	農林課	C
	遊休農地の活用方策の検討・推進（学校農園、市民農園など）	農林課 指導室	A
③	人材育成と活用の仕組みづくり（農業委員会との連携・後継者の育成支援）	農林課	A

(4)秋川・平井川流域の総合的な保全

- ① 流域の自然環境の保全
- ② 河川環境の保全・創出
- ③ 水量・水質の改善

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 23 年度 評価
①	流域の一体的な保全（水と緑の環境保全）	環境課	A
②	秋川・平井川流域における環境保全の推進	環境課 生涯学習推進課	A
③	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（再掲）	農林課	A
	湧水の保全（湧水調査、湧水のPR、雨水浸透の促進）	環境課 都市計画課	A
	親しめる環境づくり（親水散策路の整備）	建設課	C
	崖線地区の保全（市街化調整区域への指定変更、公有地化）	環境課 都市計画課	A
	市民意識の啓発	環境課	A
	モデル地区での水質浄化活動	環境課	C

(5)地質・地形の保存と活用

- ① 地質・地形の適正評価と保存
- ② 保存・活用のための仕組みづくり

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成23年度 評価
①	適正な評価の実施	生涯学習推進課 環境の森推進室 環境課	B
②	財源の確保	生涯学習推進課 環境課	C
	文化財の指定、開発の抑制	生涯学習推進課 都市計画課	A
③	郷土学習の支援（多様な連携づくり）	生涯学習推進課 環境の森推進室 環境課	A
	都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	生涯学習推進課 環境課	A
	文化財講座等の開催（市民カレッジ、市民解説員の活動推進）	生涯学習推進課 公民館	A

生活環境分野

2-3 健康で安全な循環型のまちの実現

【目標】

- ・ 誰もが健康で安全な暮らしができています。
- ・ 限りある資源が無駄なく利用され、循環型のまちづくりが進められている。

(1) 公害の防止

- ① 公害に関する現状把握
- ② 大気汚染防止対策の充実
- ③ 水質汚濁防止対策の充実
(→重点：美しい川を守り育む ー水がきれいな川づくりー)
- ④ 騒音防止対策の充実
- ⑤ 有害化学物質対策の充実
- ⑥ その他の公害防止・生活環境対策の充実

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 23 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
事業所排水対策							
・ 排水水質調査・是正指導 〔環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
生活排水対策							
・ 下水道への接続啓発・普及 〔下水道課〕	予定	継続					A
	実績						
・ 下水道の整備 〔下水道課〕	予定	継続					A
	実績						
・ 合併処理浄化槽の設置補助（補助金） 〔環境課〕	予定	継続					A
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容		担当課	平成23年度 評価
関連する施策・事業			
①	環境に関する情報の収集・公開（広報等）	環境課	A
	環境関連講座の開催	環境課	B
	環境調査の実施（項目等の見直し・充実）	環境課	A
②	自動車による大気汚染の低減（自動車利用の抑制、エコドライブの推奨）	環境課 総務課	A
	公共交通機関等の利用促進（駐輪場の整備、るのバス等の充実）	企画政策課 地域防災課	A
	低公害車の率先導入	地域防災課 総務課	A
	低公害車の普及・啓発（情報提供）	環境課	A
	粉じん防止対策の充実	環境課	A
	悪臭防止対策の充実	環境課	A
③	家庭・事業所排水対策（普及・啓発の実施）	環境課	A
	下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討	下水道課	C
④	工場・事業場からの騒音防止対策の充実	環境課	A
	道路交通騒音対策の実施（都等への要望）	建設課	C
	近隣騒音防止対策の充実（啓発・指導）	環境課	A
	航空騒音対策の実施（関係機関への要請）	企画政策課	A
⑤	有害化学物質に係る情報の充実（情報提供）	環境課	A
	有害化学物質の使用の適正化の促進（届出に係る指導）	環境課	A
⑥	振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	環境課	A
	土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	環境課	A
	家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設の整備）	農林課	A
	地下水保全対策の充実（揚水規制）	環境課 農林課	A
	光害防止対策の研究	環境課	A

(2)循環型社会の構築

- ① 体系的な循環型システム構築の推進
(→重点：資源を循環させる)
- ② 環境に配慮した収集・処理の推進

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 23 年度
		H23	H24	H25	H26	H27
循環型社会構築の推進						
・「ごみ会議」の運営・推進 〔環境課〕	予定	継続				A
	実績					
・ごみ減量・リサイクル意識の啓発 (情報誌「へらすぞう」の発行等) 〔環境課〕	予定	継続				A
	実績					
・落ち葉の堆肥化の推進 〔環境課〕	予定	モデル地区	実施			A
	実績					

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 23 年度 評価
①	グリーン購入の推進 (考え方や商品等の紹介・PR)	環境課	C
	省資源 (レジ袋削減・簡易包装等)・ロングライフ (長寿命) 化の推進 (情報提供・意識啓発)	環境課	A
	エコショップ認定制度の検討	環境課 商工観光課	C
	リサイクルフェアの実施	環境課	A
	廃食油石けんづくりの普及	環境課	A
	生ごみリサイクルの促進 (生ごみ処理機導入補助・EM菌バケツ貸出)	環境課	A
	省資源型経営の推奨	環境課	C
	ごみの戸別収集・有料化	環境課	A
	資源集団回収の実施	環境課	A
	ペットボトル等拠点回収実施	環境課	A
	新たなリサイクルシステムの検討	環境課	C
	剪定枝等のリサイクル方法の検討	環境課	A
	放置自転車リサイクルの実施	地域防災課	A

環境基本計画の内容		担当課	平成 23 年度 評価
関連する施策・事業			
②	環境低負荷型の収集の実現（効率的な収集ルートを選定、収集車の低公害化）	環境課	A
	ごみ焼却に伴う環境負荷の低減（ダイオキシン類の発生抑制等）	環境課	A
	清掃工場の適正管理	環境課	A

2-4 身近な自然を生かしたまちの創造

【目標】

- ・ 市街地の中に緑があふれ、誰もが身近にふれあっている。
- ・ 子どもたちが遊び、人々が集う魅力ある水辺が整備されている。

(1)市街地における緑の確保

- ① 公共の緑の充実
- ② 住宅・工場施設等の緑化
- ③ 農地や樹林地の保全（→重点：農地・農業を守る）

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 23 年度 評価
	H23	H24	H25	H26	H27	
地元野菜の普及・活用（食育）						
・ 施設園芸（温室等）化 〔農林課〕	予定	事業展開				A
	実績					
・ 保育園給食等への供給検討・実施 〔農林課〕	予定	検討・実施				B
	実績					
・ 地元産野菜を題材にした食育の推進 〔農林課・健康課〕	予定	実施				A
	実績					
農業の振興・支援						
・ 後継者の育成支援 〔農林課〕	予定	継続				A
	実績					
・ 獣害防止対策の実施 （被害状況のモニタリング、電気柵設置） 〔農林課〕	予定	継続				A
	実績					
農地の適正管理と活用						
・ 生産緑地制度の推進・管理 追加指定（希望者把握・協議） 〔農林課・都市計画課〕	予定	継続				A
	実績					
・ 市民農園制度の活用 取組方策の検討（遊休農地の活用ほか） 〔農林課〕	予定	継続				A
	実績					

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成23年度 評価
①	公園の整備の推進	管理課 建設課 区画整理推進室 環境課	A
②	緑化の推進（開発時の緑化指導）	環境課 都市計画課	A
	緑化の効果のPR	環境課	A
③	保存樹木・保存緑地の指定	環境課	A
	みどりの大切さのPR	環境課	B

(2)魅力ある川づくり

- ① 親しめる川の保全・整備
(→重点：美しい川を守り育む ―ホテルが棲め、子どもが遊べる川づくり―)
- ② 川のある景観の保全と活用
- ③ 水と緑のネットワークの形成

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成23年度 評価
		H23	H24	H25	H26	H27	
市民参加による清流の保全							
・清流保全協力員活動（看板の設置等） 〔環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
・市民参加型イベントの検討・実施 〔環境課〕	予定	継続					B
	実績						
・活動の公表の検討 〔環境課〕	予定	継続					C
	実績						
・河川景観の整備 〔環境課・建設課〕	予定	継続・協力依頼					A
	実績						
・川遊びのマナー等の向上（マナーの周知・ 清掃活動・不法投棄防止） 〔環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
ホテルが棲める川づくり							
・ホテルが見られる場所の調査 〔環境の森推進室・環境課〕	予定	調査・分析					A
	実績						
・ホテルが棲める川づくり（ホテルの保護 など） 〔環境の森推進室・環境課〕	予定	地域ごとに展開					A
	実績						

	年 度					平成 23 年度 評価
		H23	H24	H25	H26	
子どもの水辺事業の推進 〔生涯学習推進課〕	予定	継続				A
	実績					

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 23 年度 評価
①	親水散策路の整備の推進（再掲）	建設課	C
②	あきる野百景の保全・活用の検討	環境課	A
③	散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）	商工観光課 建設課	A
	水と緑のマップの充実	環境課	A

2-5 美しく清潔なまちの形成

【目標】

- ・ みんなで一緒に、市内をきれいにする活動や街並みづくりを進めている。
- ・ ごみのない、美しく魅力的な街並みが形成されている。

(1) 景観の整備

- ① 快適な街並みの形成
(→重点：美しいまちをつくる - 「歩きたくなる」みちづくり-)
- ② 魅力的で憩いの場となる街並みの形成
- ③ あきる野の顔づくり

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 23 年度 評価	
		H23	H24	H25	H26		H27
良好な街並みづくり（地区計画） （区画整理事業区域・線引き変更箇所） 〔区画整理推進室・都市計画課〕	予定	継続					A
	実績						
歩きやすいみちづくり （散策路・遊歩道の整備） 〔建設課・商工観光課・環境の森推進室〕	予定	検討・実施					A
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 23 年度 評価
①	良好な街並みづくり（地区計画の活用）	都市計画課	A
	景観保全・形成の方向性の決定（都市景観ガイドラインの策定等）	都市計画課 環境課	C
	市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発（a. マナーやルール、b. まちづくり教育・組織づくり）	区画整理推進室 環境課	A
	商店街の景観整備	商工観光課	C
②	まちかど広場等の整備	建設課	B
	買い物マップの作成	商工観光課	C
	観光スポットのPR	商工観光課	A
③	不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去	管理課	A
	電線の地中化の検討	区画整理推進室 管理課	C

(2)清潔なまちづくり

- ① たばこ・ごみのポイ捨て防止
(→重点：美しいまちをつくる ーわがまちの清掃活動の推進ー)
- ② 不法投棄の防止
- ③ 道路・公園・公共建物等の管理
- ④ 犬、猫等ペットに関する指導・啓発

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 23 年度 評価	
		H23	H24	H25	H26		H27
たばこ・ごみのポイ捨て防止（意識啓発） 〔環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
一斉清掃の実施 〔環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
ボランティア活動の推進（ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収） 〔環境課〕	予定	継続					A
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 23 年度 評価
①	ポイ捨て防止などの対策の研究	環境課	B
②	不法投棄防止対策の充実	環境課	A
③	ごみ会議の開催	環境課	A
	道路・公園・公共建物等の適正管理の実施	建設課 管理課 環境課	A
	空き地の適正管理	環境課	A
④	ペットの飼い方等の意識啓発	健康課	A
	苦情対策	環境課 健康課	A

エネルギー環境分野

2-6 省エネルギーの推進

【目標】

- ・ みんなで省エネルギー行動を進めている。
- ・ 本市からのCO₂排出量が減っている。

(1) 市全体での省エネルギーの推進

① 市全域でのエネルギー使用量の把握

(→重点：省エネルギーを進める - 省エネルギーのまちづくり-)

② 動機付けとなる仕組みづくり

(→重点：省エネルギーを進める - 動機付けとなる仕組みづくり-)

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 23 年度 評価
		H23	H24	H25	H26	
地球温暖化対策地域推進計画の策定 〔環境課〕	予定	策定				B
	実績					
省エネ教育の推進						
・ 学校での教育プログラムの実施 〔指導室〕	予定	実施				A
	実績					
・ 事業所への働きかけ 〔環境課〕	予定	実施				B
	実績					
制度の検討 〔環境課〕	予定	検討				A
	実績					
カーボン・オフセットの活用						
・ 現行の取組の把握・整理・検証 〔農林課・環境課〕	予定	検証				B
	実績					
・ 広域的な連携による研究 〔農林課・環境課〕	予定	調査・研究				B
	実績					
・ 森づくりと連携したカーボン・オフセッ トの仕組みづくり・活用の検討 〔農林課・環境課〕	予定	検討				A
	実績					

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成23年度 評価
①	市全域の温室効果ガス排出量の把握	環境課	A

(2)自動車対策

- ① 自動車利用の抑制
(→重点：省エネルギーを進める –エコドライブを推進する–)
- ② クリーンエネルギー自動車の導入促進

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成23年度 評価
		H23	H24	H25	H26	H27	
エコドライブの普及・啓発							
・各種支援制度の利用等の検討 〔環境課〕	予定	検討					A
	実績						
・啓発の実施 〔環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
・講習会（座学・実技）等の開催 〔環境課・総務課・職員課〕	予定	座学	実技				A
	実績						
自転車利用の促進							
・施設整備の実施 〔地域防災課・建設課〕	予定	検討					B
	実績						
・自転車優遇方策の検討 〔環境課〕	予定	検討					B
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成23年度 評価
①	「車に乗らない日」の普及・啓発	環境課	C
	公共交通機関の利用促進	環境課 企画政策課	A
	自転車専用のインフラ整備	建設課	C
②	低公害車の率先導入（再掲）	総務課 地域防災課	A
	低公害車の普及・啓発（再掲）	環境課	A
	燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施（エコエネルギー ステーションの設置研究ほか）	環境課 企画政策課	C

(3)電力使用量の削減

- ① 家庭での省エネルギー対策
(→重点：省エネルギーを進める ー家庭での省エネルギー対策ー)
- ② 事業所での省エネルギー対策

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 23 年度 評価
		H23	H24	H25	H26	
省エネルギー対策の普及・啓発						
・情報提供と協力呼びかけ 〔環境課〕	予定	継続・強化				A
	実績					
・セミナーの開催 〔環境課〕	予定	継続・強化				C
	実績					
省エネ型生活 10 か条・環境家計簿の普及						
・省エネ型生活 10 か条・環境家計簿等の 普及 〔環境課〕	予定	普及				A
	実績					
・省エネモニター制度の実施 〔環境課〕	予定	募集・登録				A
	実績					
雨水貯留槽設置の導入促進						
・雨水貯留槽の設置支援 〔環境課〕	予定	補助				F
	実績	終了				

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 23 年度 評価
①	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発（エコハウス等の情報提供）		
②	事業者への省エネルギー対策の普及・啓発	環境課	A
	事業所のエネルギーマネジメントの普及	環境課	C
	中小事業所や商店に対する普及・啓発	環境課	A
	公共施設での「あきる野エコ活動」の推進	総務課	A

2-7 新エネルギーの導入

【目標】

- ・ 太陽光や森林資源などを有効活用した新エネルギーを導入している。
- ・ 市民の新エネルギーへの関心が高まり、積極的に利用している。

(1)新エネルギー技術の活用

- ① 家庭・事業所での新エネルギー技術の導入促進
(→重点：新エネルギーを導入する)
- ② 公共施設への新発電技術の導入

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 23 年度
		H23	H24	H25	H26	H27
家庭における新エネルギー・省エネルギー機器の導入促進						
・ 情報提供と普及促進 〔環境課〕	予定	継続・強化				A
	実績					
・ 新エネルギー・省エネルギー機器の設置 支援 〔環境課〕	予定	補助				A
	実績					

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 23 年度 評価
①	事業所での新エネルギーの導入促進	環境課	A
	新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	環境課	A
②	木質バイオマスの利用促進	商工観光課 農林課 環境課	A
	普及啓発・環境教育の実施	商工観光課 農林課 環境課	A

(2)リサイクル型エネルギーの利用

① ごみ焼却熱の再利用

<施策・事業>

環境基本計画の内容		担当課	平成23年度 評価
関連する施策・事業			
①	焼却炉の効率的な稼働の促進	環境課	A
	ごみ焼却余熱の利用	環境課 西秋川衛生組合	B

(3)最新動向の把握及び調査研究

<施策・事業>

環境基本計画の内容		担当課	平成23年度 評価
関連する施策・事業			
新たな新エネルギー技術の導入検討		環境課 施設営繕課	B

2-8 森林・緑地の拡大によるCO₂の吸収

【目標】

- ・ 森林が適正に管理され、CO₂が吸収されている。
- ・ 市街地内にも緑がたくさんあり、CO₂が吸収されている。

(1) 森林の保全

- ① CO₂吸収量の確保
- ② CO₂吸収源の育成（地域林業の活性化）

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成23年度 評価
①	森林のCO ₂ 吸収量に関する普及・啓発	農林課 環境課 指導室	A
	森林等の適正管理・保全の促進（再掲）	農林課 環境課	A
②	総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）	農林課	A
	地域林業の活性化（再掲）	農林課	A
	材木生産の合理化とブランドイメージの向上	農林課 商工観光課	A
	木材加工産業の育成	農林課 商工観光課	A

(2) 緑化の推進

- ① CO₂吸収量の拡大のための緑化

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成23年度 評価
①	街路樹、公園樹木の拡大	建設課 管理課 環境課	A
	家庭等での植樹の推進（再掲）	環境課 農林課	A
	グリーンリサイクル（落ち葉・剪定枝）の推進（再掲）	環境課	A

人の活動分野

2-9 市民・事業者・市の協働による取組の推進

【目標】

- ・ 誰もが環境に関する情報をいつでも見ることができる。
- ・ 一人ひとりが自主的に環境行動を実践している。
- ・ 市民・事業者・市が協働して、環境行動を展開している。

(1) 情報の共有

- ① 環境に関する情報提供・交流
- ② 情報共有化のための仕組みづくり

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 23 年度 評価
①	「環境白書」の作成・公表	環境課	A
	環境に関する情報の収集・公開	環境課 図書館	A
	研究・活動実績等の発表の場づくり	環境課	C
②	環境情報サイトの立ち上げ	環境課	B
	環境情報コーナー等の機能整備の検討	環境課 図書館	B

(2) 環境教育の推進

- ① 環境教育の充実
(→重点：人づくりを進める)

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成 23 年度 評価
		H23	H24	H25	H26	H27	
環境教育の場の充実 〔環境課・環境の森推進室・指導室・生涯学習 推進課・公民館〕	予定	継続					A
	実績						
人材の育成及び活用 〔環境課・生涯学習推進課・公民館〕	予定	継続					A
	実績						

(3)環境パートナーシップの形成

- ① 市民・事業者・市の具体的な役割の設定

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成23年度 評価
①	協働・団体等のネットワーク化	環境課	C
	市民・事業者・市の協働事業等の推進	環境課	B
	問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	環境課	A

(4)様々な仕組みの検討

- ① 計画推進の基盤づくり
② 市民・事業者の行動促進の仕組みづくり

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成23年度 評価
①	財源の確保の検討	環境課	C
	ボランティアの活用の仕組みづくり	環境課	B
	点検・評価への参加の充実	環境課	A
②	家庭版・学校版ISO等の仕組み検討	環境課	C
	事業者のマネジメントシステム導入支援	環境課	C
	経済的手法の研究	環境課	C

3 あきる野市環境委員会からの意見

平成 24 年度から環境委員会では、自然環境、生活環境、エネルギー環境の 3 分野のグループに分かれ、環境基本計画の施策の進捗状況について点検評価を行いました。ここに掲載する環境委員会からの意見についても、各グループで協議を行い、環境委員会の意見としてとりまとめました。

3-1 環境基本計画の施策のあり方

緑化の推進（森林・緑地の保全・拡大、市街地の緑の確保）は、エネルギー環境問題であり、生活環境問題であり、自然環境問題でもあります。どの分野から見ても重要な問題ではありますが、とかくこま切れの扱いになり、総合的な構想に基づく実施は不可能です。

ボランティア組織づくりや運営など、複数の分野や領域にまたがる重要な問題を統一的に取り上げて、具体的な実施に結び付ける必要があります。

エコ、省エネ、新エネルギーなどは、今まさに花形の分野で、全世界でその技術の開発が日進月歩で進んでいます。まさに我々は座しているだけで新しい技術を受容できます。しかし、自然環境は世界的に今この 1 秒で何ヘクタールの自然がなくなったという状況であり、まさに待ったなしです。これはあきる野市も同じことです。

一般市民がやれることなど限られていますが、一歩踏み出さなければなりません。その一歩は、自然環境に対して市民一人一人が「最低限これだけはやらないようにしましょう」と思い、そして行動することです。その手助けを環境基本計画のあらゆる分野での仕組みづくりや体制づくりに反映させていく必要があります。

個々の施策について、環境委員でさえ、担当課との質疑応答のやり取りを経てようやく理解できる現状なので、一般市民にとっては、なおさら行政が発信するものが届いておらず、理解できるほどの情報がありません。日常的な情報の開示を通し、市民との相互理解をまず図り、共通の意思にしていくのが大切だと思います。

環境基本計画に掲げた事業は、その目的と意義を各課がきちんと理解し合意した上で掲載されているはずで、現在未着手であっても将来的に取り組まなければならないという認識です。予算不足、体制が整わないなど原因がある場合は、どう解決して進めていくのか見通しや姿勢を示す必要があります。

激動する世情のニーズを的確に把握し、よりタイムリーな対応が出来るような仕組みが必要とされます。

3-2 環境委員会として推進していく施策・事業、市民協働で担う役割

環境基本計画に照らし、市民目線からの施策進捗チェックを行います。

市民から市民への立場で普及啓発を実施していきます。

環境委員会の役割は、市民の意見を市の環境政策に反映させていくことだと思います。委員一人一人が市民の意見を集約することはできないので、各種分野から出ている委員が各自の立場から意見を出し、環境政策に反映させる努力をすることが必要であると思います。

環境委員会の基本的考え方として、行政は何かをやっていかなければならないが、我々一般市民は「最低限これだけはしないようにしよう」というレベルでの捉え方で良いのではと思っています。しかし、これが長期的に見て将来必ずズシンと効いてくると推察しています。

したがって、環境委員会は、行政と同じ考え方、行動の仕方、見方をするのではなく、市民の立場をあくまで堅持する必要があります。

机上のやりとりだけでは非常に虚しく感じるので、環境委員会として一つでも事業ができれば理想的だと思います。

ごみの収集から焼却までの作業工程の学習を通じて、市民が協力できる資源循環の方策を検討したり、駐輪場の時間別利用者数や放置状態の駐輪台数の把握により、駐輪場整備の方向性を検討するなどを通じて、具体的な施策推進への協力を実施していきたいと思っています。

地球温暖化は気候変動や動植物に大きな影響を与えています。温暖化は主にエネルギー消費が要因と言われています。3.11以降我が国のエネルギーを取り巻く環境は大きく変わりました。既存の原子力、火力を中心としたシステムのままで良いのかどうか社会的に問われています。

私達の生活での省エネは当然進めなくてはなりません。他方でエネルギーをつくる自前電力（創電）へのアクションが必要ではないでしょうか。市民への省エネ・再生可能エネルギーの活用の啓発は強化する必要があります。同時に、行政が率先して行動を起こすことが強く求められていると思います。クリーンな再生可能エネルギーの活用は今後益々重要になることから、具体的な施策を特化し、推進を図れればと思います。

資料編

1 施策の進捗状況調査結果

【評価基準】
 A: 定常的实施
 B: 一部着手
 C: 未着手
 F: 完了

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	市域全体の自然を知る	自然環境調査の実施	自然環境調査部会による調査を実施した。	A	自然環境調査部会によるフォロー調査を実施する。	環境課 (H24～環境政策課)	
				あきる野百景などの周知・活用	あきる野百景については、市ホームページに掲載するとともに、公共施設や観光施設にパンフレットを設置している。また、写真パネルを五日市郷土館での展示に貸し出した。また、商工観光課で作成したあきる野百景めぐりパンフレットへの情報提供を行うとともに、画像提供を行った。その他、必要に応じてあきる野百景に登録された場所の画像提供を行った。	A	A	継続して市ホームページに掲載するとともに、公共施設や観光施設にパンフレットを設置する。五日市郷土館へのパネルの貸し出しを継続する。また、必要に応じて情報・画像提供やパネルの貸し出しを行う。	環境課 (H24～環境政策課)	
					あきる野百景めぐりマップを散策コースの案内書として、市内外に約15,000部配布し、市のPRを行った。	A		あきる野百景めぐりマップを散策コースの案内書として、市民及び市外の観光客に配布し、市のPRを図る。	商工観光課 (H24～観光商工課)	
				生物多様性についての情報提供・普及啓発（講座、イベントの開催等）	あきる野の自然を広く知ってもらい、保全へ繋げるための啓発事業として、「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットを作成した。	B		「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットの無料配布を開始する。また、生物多様性地域戦略の策定と併せ、情報提供・普及啓発についても検討する。	環境課 (H24～環境政策課)	
					11月12日・13日に開催したあきる野市産業祭において、森林レンジャーあきる野が調査を進めている市内の動植物や滝・沢、巨樹などの地域資源の写真展示を行った。また、1月4日から30日までの期間に、秋川渓谷瀬音の湯の縁側ギャラリーで同様の写真展示を行った。さらに、12月15日から17日の期間で東京ビックサイトで開催された環境展示会エコプロダクツ2011にオール東京62市区町村共同事業として出展し、本市が進めている森づくりや本市の自然環境等の展示を行った。	A	A	平成23年度と同様、様々な機会を捉えて情報提供等に努めていく。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
				自然の保全・管理活動の実践	あきる野版RD種の選定	自然環境調査部会（植物班）において、あきる野版RD種の検討を進めた。	B		自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査結果を基にあきる野版RD種の選定を検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
						森林レンジャーあきる野により、市内の森林において、哺乳類や鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行っている。これにより、動物で、哺乳類3種類、鳥類28種類、爬虫類4種類、両生類5種類、魚類3種類、昆虫6種類の合計49種類の絶滅危惧種（東京都の2010年レッドリストによる）を確認している。	B	B	平成23年度と同様、調査を継続する。自然環境調査部会と連携し、あきる野版RD種の選定について、その意味や効果、活用方法等を理論的に検討した上で取り組んでいく予定である。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	自然の保全・管理活動の実践	モデル地区の選定には至っていない。	C	自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査結果を参考に、モデル地区の選定を検討する。	環境課 (H24～環境政策課)	
					適正評価及びモデル地区等の選定	B B		平成23年度と同様、市内の森林の巡視による調査を継続する。モデル地区の選定については、森林レンジャーあきる野及び自然環境調査の調査結果を参考に検討する。(ただし、モデル地区としての選定する区域について、規制や公有地化、整備手法など、有効な保全方法の検討が必要である。)	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施	B B	東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施した。独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、秋川北岸の崖線緑地等において特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を実施した。	東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施する。モデル地区としてではないが、独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を実施する。また、秋以降アライグマ・ハクビシン対策を実施する予定である。モデル地区の選定を待たずに保全対策が急がれるものについては、随時対応を図っていく。	環境課 (H24～環境政策課)
					モデル地区ではないが、菅生若宮子ども体験の森において、町内会長や青年会議所、環境学習等に精通した者による実行委員会を組織して、自然体験等の事業を行うとともに、環境に配慮した森林の保全・管理活動を実施した。	B	菅生若宮子ども体験の森において、実行委員会により、環境に配慮した森林の保全・管理活動を実施する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
					生物多様性の保全のための方針の確立	B B	自然環境調査を実施し、調査結果については、方針検討の資料にする。また、生物多様性地域戦略策定に関するシンポジウムに参加し、情報収集を行った。	生物多様性地域戦略策定に向け情報収集を行うとともに、各種団体の意見を聞きながら、検討を行う。	環境課 (H24～環境政策課)
						B	森林レンジャーあきる野により、市内の森林の整備状況や健全性の調査を行うとともに、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行い、絶滅危惧種や外来生物を確認、整理している。	平成23年度と同様、市内の森林の巡視による調査を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					外来生物対策	A B	独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を実施した。また、広報及びホームページでオオキンケイギクの除草の呼びかけを行った。	独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を継続する。また、東京都の制度を利用し、市民と協働でアライグマ等の対策を進める。オオキンケイギクについてもホームページで呼びかけを継続する。	環境課 (H24～環境政策課)
						A B	森林レンジャーあきる野により、市内の森林において、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行っている。これにより、アライグマやタイワンリス、ガビチョウ、カオグロガビチョウ、ソウシチョウ、アカミミガメ、ウシガエル、アメリカザリガニなどの外来生物を確認している。	平成23年度と同様、市内の森林の巡視による調査を継続する。最も注目されているアライグマは、急速に個体数が増加していると考えられ、地域によっては、農作物に被害を与えるとともに、両生類や魚類を捕食してしまうなど、希少な生物の生態にも悪影響を及ぼしている。特に、トウキョウサンショウウオなどの小動物をよく捕食することが確認されている。このように自然のバランスが大きく崩れる可能性があることから、外来種の調査や防除などの対策が必要である。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般 実効性の高い保全の仕組みづくり	緑地保全制度の実態の評価 (評価の指針等の作成、実態評価)	評価の指針等の作成等には至っていないが、環境委員会において、街路樹や公園の樹木等のあり方について課題が出され、担当課との調整を行った。	B	生物多様性地域戦略の策定の検討とともに、街路樹や公園の樹木等の管理のあり方について検討する。	環境課 (H24～環境政策課)	
			実効性の高い保全制度の検討・確立	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定と併せ検討する。	環境課 (H24～環境政策課)	
				平成23年度から、菅生地区をモデルとして産学官が連携した森づくりを進めており、NECフィールドینگ(株)、明星大学、菅生町内会、あきる野青年会議所、NPO法人ふるさと森づくりセンター、あきる野市の6者で組織するあきる野菅生の森づくり協議会で実施している里山活性化事業において、様々な主体が協働して森づくりに取り組んでいる。この取組を進めていく中で、新しい森づくりの担い手の育成や森づくりの方法などを探りつつ、実効性の高い保全の方法を検討、確立していく。	B	B	平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
			財源の強化・拡充	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定と併せ検討する。	環境課 (H24～環境政策課)	
				平成23年度からは、郷土の恵みの森づくり事業を目的に寄付をした方に対し、秋川渓谷瀬音の湯の招待券を贈呈している。また、瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を本事業へ指定寄付するため、サントリーフーズ(株)と新四季創造(株)とあきる野市の三者で契約を締結した。	A	A	平成23年度の取組を継続する。また、郷土の恵みの森づくりをPRするための作成した市民向けのパンフレットに寄付を募る用紙を加えて周知を図っていく。さらに、今後は、寄付金の使途が明確になる具体的なプロジェクトを検討する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				林道整備や東京都花粉対策事業の実施などに伴い、市有地内の立木の伐採を行った場合に、立木の売払収入を得ている。この収入について、今後の森づくり事業の財源とするため、郷土の恵みの森づくり事業基金へ積み立てを行った。	A	実施予定なし	財政課	
			ボランティアの育成・活用	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)	
				町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポートレンジャーあきる野」を設置し、町内会・自治会が行う普道や尾根道の補修、景観整備とともに、森づくりイベントなどの支援を行った。平成23年度においては、市職員に森づくりに関心のある方(市民・企業・団体)を加え(平成24年3月末現在89人)、18回の活動に191人が参加した。	A	A	平成23年度の取組を継続する。ボランティアが使用するカマやトンガ、ジョレン、草刈り機などの充実を図るとともに、活動を盛り上げ、一体感を醸成するため、ぼうしやタオルなどの装備を確保する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般	実効性の高い保全の仕組みづくり	多様な主体が連携した体制・仕組みづくり	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定と併せ検討する。	環境課 (H24～環境政策課)	
					里山体験や環境学習、森の遊び体験などを行う「菅生若宮子ども体験の森事業」を地元住民との協働により推進するとともに、秋川消防署レスキュー隊や五日市警察署山岳警備隊、東京都レンジャーなどとの連携強化を図っている。 また、自然や郷土を愛し、あきる野の自然と文化を守り引き継いでくれる森の守り人を育成するため、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子コレンジャーとして組織（小学校4年生から中学1年生までの19人）し、1年間、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。さらに、産学官が連携した森づくりの取組を進めた。	A	A	平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布した。	A		緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布する。	農林課
		一般	市民の声が生かせる、環境に配慮したまちづくりの実現	開発計画への市民参加の仕組み化	土地利用計画策定の際、委員の市民参加及びパブリックコメントの募集を実施した。	A		土地利用方針等のパブリックコメントの募集の実施を予定している。	都市計画課
				景観形成モデル地区の設定	実施していない	C	C	実施予定なし	都市計画課
					実施していない	C		実施予定なし	区画整理推進室
				自然環境に適合した既存計画、線引き・用途区域等の見直し	数箇所の編入について、計画・東京都協議を行った。なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。	B		数箇所の編入について、計画・東京都協議を行う。なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。	都市計画課
				環境配慮型まちづくり方針・指針の策定	実施していない	C		実施予定なし	都市計画課
				地域別環境づくりの方針の活用 (地区計画制度の活用)	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定箇所の検討を行った。	A	A	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定箇所の検討を行う。	都市計画課
	実施していない	C			実施予定なし	区画整理推進室			
	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	森林の環境面からの機能評価	森林法改正に伴い、多摩地域森林計画の策定及び変更をした。	A		昨年度、策定及び変更をし、5年ごとの見直しのため、今年度の実施予定なし	農林課
					平成22年3月に策定した郷土の恵みの森構想や平成23年3月に策定した郷土の恵みの森づくり基本計画において、市域の森について、地形や資源の分布状況などと町内会・自治会の単位などから、主要な7つの地区に区分し、整備方針を定めている。この整備方針に基づき、各町内会や自治会は、昔道・尾根道の整備や景観整備に取り組んでいる。	A	A	平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大 (モデル地区による「美林の里」づくり)	戸倉地区において、スギを伐採し、広葉樹の植栽を行った。(花粉対策事業)	A	花粉対策事業(色彩豊かな森事業)の事業廃止により実施予定なし	農林課		
				産学官による森づくりにおいて、モデル地区である菅生地区の大沢にある市有地においては、地域の方を中心にワークショップ形式で残土による盛り土部の土地利用の方針を検討している。平成23年度においては、試験的にマツを植樹した。	B	平成23年度の取組を継続し、大沢にある市有地において、森づくりを進める。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)		
		重点	森林の保全と活用	地域の魅力を高める森づくり(モデルプラン)の推進	深沢地区においては、深沢川周辺と南沢地区において景観整備を実施しており、大カシから堀田尾根にかけて尾根道の整備に取り組んでいる。本地区には、五日市憲法草案の発見された深沢家の土蔵や南沢のアジサイ、深沢小さな美術館などの観光資源が存在しており、森づくりによる散策コースの整備や大カシという観光資源の発掘、そしてこれらを結ぶルートの提案など、モデルプランとして情報発信をしている。落合自治会や養沢自治会との連携により整備された尾根道とあわせ、武蔵五日市駅～大カシ～堀田尾根～金比羅尾根～横根道～瀬音の湯という山歩きのコースも整備され、あきる野市においても、本年2月25日には、このコースで山歩きのイベントを計画したが、雨で中止になった。また、菅生地区については、良好な里山環境という地域資源を生かしつつ、産学官による森づくりにより地域の方を中心に取組を進めている。その他、本地区には、良好な里山環境の中、南北に散策に適したゆるやかな尾根道があり、地域の方により尾根道の整備が行われている。	A	平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
					次世代につなぐ森づくり	平成23年度は、7つの町内会・自治会により、昔道・尾根道の整備が行われており、8つの自治会により、道路補修や植樹など景観整備が行われている。これらの事業の実施により、武蔵五日市駅から瀬音の湯までのコースをはじめ、既存の登山道などとあわせていくつかのコースが確保された。	A	平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					森の魅力発信	イベントとしては、菅生若宮子ども体験の森において、12月3日に「里山遊びをしよう!」、3月17日に「里山たんけんだ!」を実施した。また、雨で中止したが、武蔵五日市駅から瀬音の湯までの山歩きのイベントを計画した。産学官の連携事業では、11月19日に「マツを植えよう」、2月11日に「里山散策と森づくり体験」、3月11日に「椎茸の駒打ちと里山遊び」を実施した。また、森林レンジャーが実施している森の巡視や動植物の調査、森の子レンジャーの活動などの状況や森の資源などについては、毎月発行の「レンジャー新聞」や広報あきる野の毎月15日号の「レンジャーがゆく」のコーナーで情報提供を行い、PRをしている。さらに、森の子レンジャーの活動に取り組んでいる。	A	平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	森林の保全と活用	一般	森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進	森林法改正に伴い、あきる野市森林整備計画の策定及び変更を行った。	A	昨年度、策定及び変更をし、5年ごとの見直しのため、今年度の実施予定なし	農林課	
				森林資源の需要の喚起 (新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用)	みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内整備を実施した。	A	みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内調査を実施予定	農林課	
			重点	森づくりの体制の整備	町内会・自治会等との連携	郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会が取り組んでいる昔道・尾根道の補修や景観を整備する郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付するとともに、森林レンジャーあきる野や森林サポートレンジャーあきる野等が整備作業等を支援した。平成23年度においては、昔道や尾根道の補修事業を9地区、景観整備事業を9地区で実施した。	A	平成23年度の実績を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					森林レンジャー・森林サポートレンジャー組織の整備	平成22年5月に組織した森林レンジャーあきる野が継続的に活動をしている。また、森林サポートレンジャーあきる野については、平成22年度から市の職員により活動を開始し、平成23年度からは、森づくりに関心のある市民等を加えて活動をしている。	A	平成23年度の実績を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					郷土の恵みの森づくり事業基金の運用	郷土の恵みの森づくり事業を推進するために寄せられた寄付金については、郷土の恵みの森づくり事業基金に積み立てており、予算編成上の必要性により活用している。	A	平成23年度の実績を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
			一般	森林の保全と活用	環境の森推進室の設置による森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各町内会・自治会と合同で整備事業を実施	環境の森推進室の設置による森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各町内会・自治会と合同で整備事業を実施	A	A	森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各町内会・自治会と合同で整備事業を実施予定
		市民参加の森づくり事業の推進 (ボランティアの育成・活用の仕組みづくり)				町内会・自治会が取り組んでいる郷土の恵みの森づくり事業については、地域住民や森林サポートレンジャーあきる野が協働して整備事業を進めている。一部地域においては、民間の任意団体がボランティアでこのような整備に協力して活動をしている。また、産学官の連携による森づくりに関しては、あきる野管生の森づくり協議会を組織し、構成する各団体により森づくりの取組をボランティアで進めている。	A		平成23年度の実績を継続する。
		活動資金の確保 (緑地保全基金の活用の検討(再掲))		実施していない	C	実施予定なし	農林課		
				実施していない	C	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)		
				平成23年度からは、郷土の恵みの森づくり事業を目的に寄付をした方に対し、秋川渓谷瀬音の湯の招待券を贈呈している。また、瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を本事業へ指定寄付するため、サントリーフーズ(株)と新四季創造(株)とあきる野市の三者で契約を締結した。	A	A	平成23年度の実績を継続する。また、郷土の恵みの森づくりをPRするための作成した市民向けのパンフレットに寄付を募る用紙を加えて周知を図っていく。さらに、今後は、寄付金の使途が明確になる具体的なプロジェクトを検討する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
				当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ300万円を充当し、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用した。	A		当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当するなど、郷土の恵みの森づくり事業基金の有効活用を図り、森づくりを推進する。	財政課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	森林保全・活用のための整備の推進	林道鍾乳洞沢線、南沢線、盆堀線、伝名沢線の工事を施工した。	A	A	林道鍾乳洞沢線、南沢線、盆堀線、伝名沢線の工事を施工予定。	農林課
					森林管理のための林道整備に係る取組としては、町内会・自治会が郷土の恵みの森づくり事業として取り組んでいる昔道・尾根道の整備を行っている。	A		平成23年度を取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
		一般	里山の保全と活用	里山の現状調査の実施	自然環境調査において調査を実施した。また、横沢入については都の里山保全地域に指定され、都が調査を実施している。	B	B	自然環境調査部会においてフォロー調査を実施する。また、横沢入里山保全地域においても都の調査を継続実施する。	環境課 (H24～環境政策課)
					実施していない	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				評価と利活用方針の検討	自然環境調査の調査結果については、今後の保全策検討における資料とする。また、横沢入については都により検討されている。	B	B	自然環境調査ではフォロー調査として調査を継続する。また、横沢入里山保全地域においても、都が調査を継続実施する。	環境課 (H24～環境政策課)
					実施していない	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				モデル地区での保全管理活動の実践	モデル地区の選定には至っていない。	C	A	自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査の内容を踏まえ、モデル地区の選定を検討するとともに、モデル地区の選定の有無に関わらず、保全対策が急がれるところについては、随時保全を進めていく。	環境課 (H24～環境政策課)
					菅生地区では、良好な里山環境という地域資源を生かしつつ、産学官による森づくりにより地域の方を中心に取組を進めている。その他、本地区には、良好な里山環境の中、南北に散策に適したゆるやかな尾根道があり、地域の方により尾根道の整備が行われている。	A		平成23年度を取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				各地域での保全策の検討	自然環境調査部会において市内の自然環境についての課題抽出を行った。なお、横沢入では都により管理計画が検討されている。	B	A	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。また、保全対策が急がれるところについては、随時保全を進めていく。	環境課 (H24～環境政策課)
					実施していない	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施	A		横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施予定	農林課
				緑地保全基金の活用（再掲）	実施していない	C	A	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
					実施していない	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ300万円を充当し、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用した。	A		当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当するなど、郷土の恵みの森づくり事業基金の有効活用を図り、森づくりを推進する。	財政課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般 里山の保全と活用	ボランティアの育成・活用（再掲）	横沢入ではボランティアの活用により里山保全が図られている。	A	A	継続実施する。	環境課 (H24～環境政策課)	
				町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポートレンジャーあきる野」を設置し、町内会・自治会が行う普道や尾根道の補修、景観整備とともに、森づくりイベントなどの支援を行った。平成23年度においては、市職員に森づくりに関心のある方（市民・企業・団体）を加え（平成24年3月末現在89人）、18回の活動に191人が参加した。	A		平成23年度の取組を継続する。ボランティアが使用するカマやトンカ、ジョレン、草刈り機などの充実を図るとともに、活動を盛り上げ、一体感を醸成するため、ぼうしやタオルなどの装備を確保する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
				実施していない	C		実施予定なし	生涯学習推進課	
				市民解説員人材育成入門講座を全て受講し、開設実習を修了したので解説員として認定した。4名	A		市民解説員人材育成入門講座を全て受講し、開設実習を修了した者を解説員として認定する。5名（予定）	公民館	
		一般 学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施	学校里山ゾーンの設定はしていないが、横沢入では増戸小児童による稲作体験が実施されている。	B	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～環境政策課)		
				実施していない		C	実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
				「郷土の恵みの森構想」に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加した。		A	「郷土の恵みの森構想」に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加していく。 また、小宮ふるさと自然体験学校を利用した自然体験学習を各小学校で実施していく。	指導室	
		一般 秋留台地一帯の農地の保全と活用	農業振興計画との整合	・遊休農地を認定農業者等に利用集積した。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発した。 ・獣害対策として、追い払い等実施し、狩猟免許取得に対して、補助事業を実施した。 ・畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導も行なった。 ・農地の散策や収穫体験を実施した。	A	・遊休農地を認定農業者等に利用集積を実施する。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発する。 ・獣害対策として、追い払い等実施し、狩猟免許取得に対して、補助事業を実施する。 ・畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導を行う。 ・農地の散策や収穫体験を実施する。	農林課		
				農地の環境面からの機能のPR	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)	
				中山間地域ふれあい農業の検討	実施していない	C	農地の利用集積により農産物の生産・販売の促進を進める。	農林課	
				あきる野産の農産物の利用拡大の検討	地元産野菜の学校給食への使用を検討した。	C	地元産野菜の学校給食への使用を進める。	農林課	
				遊休農地の活用方策の検討・推進（学校農園、市民農園など）	遊休農地の調査に基づき、地主に対しての意向調査を行った。	A	A	遊休農地の調査に基づき、地主に対しての意向調査を行う。	農林課
					総合的な学習の時間等を通して、農地を借りて農業体験を実施した。	A		前年同様に実施していく。	指導室
		人材育成と活用の仕組みづくり（農業委員会との連携・後継者の育成支援）	農業委員会と認定農業者、農業後継者との合同視察研修や意見交換会を実施し交流を図った。	A	農業委員会と認定農業者、農業後継者との合同視察研修や意見交換会を実施し交流を図る。	農林課			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般 秋川・平井川流域の総合的な保全	流域の一体的な保全（水と緑の環境保全）	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境課 (H24～環境政策課)	
						秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境課 (H24～生活環境課)	
			秋川・平井川流域における環境保全の推進	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A	A	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境課 (H24～環境政策課)
							秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境課 (H24～生活環境課)
				実施していない	C	実施予定なし	生涯学習推進課	
			公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（再掲）	戸倉、乙津地区においてスギを伐採し、花粉の少ないスギ、広葉樹の植栽を行った。（花粉対策事業）	A	A	スギを伐採し、花粉の少ないスギ、広葉樹を植栽することで針広混交林化を図る。	農林課
			湧水の保全 (湧水調査、湧水のPR、雨水浸透の促進)	東京都が湧水への関心を高め、その保護と回復を図るため、水量、水質、その由来、景観などに優れた湧水等57箇所を「東京の名湧水」として選定しており、市内で選定されている「二宮神社のお池」「八雲神社」について、市のホームページでも周知を行った。また、環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図った。	A	A	東京都が湧水への関心を高め、その保護と回復を図るため、水量、水質、その由来、景観などに優れた湧水等57箇所を「東京の名湧水」として選定しており、市内で選定されている「二宮神社のお池」「八雲神社」について、市のホームページでも周知を行った。	環境課 (H24～環境政策課)
							環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図る。	環境課 (H24～生活環境課)
							開発指導要綱に基づき、雨水浸透を指導している。	A
			親しめる環境づくり（親水散策路の整備）	実施していない	C	C	実施予定なし	建設課
			崖線地区の保全 (市街化調整区域への指定変更、公有地化)	保存緑地や公開緑地として、保全できる箇所について、保全の支援等を行った。	A	A	保存緑地や公開緑地として、保全できる箇所について、保全の支援等を行う。	環境課 (H24～環境政策課)
				線引き変更の検討	C		線引き変更の検討	都市計画課
			市民意識の啓発	清流保全を呼びかける看板については設置済みである。また、清流保全協力員によるパトロールを実施している。平成23年度においては、清流保全協力員から要望があった、平井川周辺の遊歩道への犬のふん持ち帰りを呼びかける看板を設置した。	A	A	平成23年度と同様に実施する。清流保全協力員から意見・要望等があった場合には必要に応じて対応する。	環境課 (H24～生活環境課)
モデル地区での水質浄化活動	モデル地区の設定がされておらず、実施していない。	C	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)			
				実施予定なし	環境課 (H24～生活環境課)			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	地質・地形の保存と活用	適正な評価の実施	実施していない	C	B	実施予定なし	生涯学習推進課
					実施していない	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					自然環境調査を実施するとともに、ジオパークの検討が進められた。	B		自然環境調査を実施するとともに、ジオパークの検討を進める。	環境課 (H24～環境政策課)
				財源の確保	実施していない	C	C	実施予定なし	生涯学習推進課
					実施していない	C		ジオパークの検討と併せ、検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
				文化財の指定、開発の抑制	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢鳥の巣石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開した。	A	A	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢鳥の巣石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開する。	生涯学習推進課
					実施していない	C		実施予定なし	都市計画課
				郷土学習の支援（多様な連携づくり）	公民館との事業連携を始め、横沢入里山保全地域運営協議会へのオブザーバー参加、自然環境調査会議への参画等を行った。	A	A	公民館との事業連携を始め、横沢入里山保全地域運営協議会へのオブザーバー参加を行う。	生涯学習推進課
					森林レンジャーあきる野は、都立五日市高校の総合的な学習の時間や寿大学、ふれあいウォーク、市立中学校教育研究会（理科研修）、幼稚園協議会講演会（保護者）、同講演会（教員）、南秋留小学校での動植物調査講演会、秋川ロータリークラブ講演会など、各団体が進める環境学習の支援を行った。	A		平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					自然環境調査において「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を作成した。	A		「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を学校等に配布する。	環境課 (H24～環境政策課)
				都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢鳥の巣石灰岩等の公開を支援し、特質ある地質・地形の周知を図った。また、ミエソウの化石複製の展示を行うと共にその紹介パンフレットを発行を行った。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PRを行う。さらに、「一房のぶどう」に自然等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とした。	A	A	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢鳥の巣石灰岩等の公開を支援し、特質ある地質・地形の周知を図る。また、ミエソウの化石複製の展示を行う。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PRを行う。さらに、「一房のぶどう」に天然記念物や地形の特質等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とする。	生涯学習推進課
					自然環境調査において、地質・地形に関する調査を実施した。また、市民に周知を図るため「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を作成した。	A		自然環境調査部会において作成した「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を無料配布する。また、自然環境調査部会において、平成21～23年度の調査結果を基に、市民向け調査報告書を作成する。	環境課 (H24～環境政策課)
				文化財講座等の開催（市民カレッジ、市民解説員の活動推進）	自然に関わる写真展や資料の展示を行い、地質、地形等の特性についての環境保全啓発の機会とした。	A	A	自然に関わる写真展や資料の展示を行い、地質、地形等の特性についての環境保全啓発の機会とする。	生涯学習推進課
					市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を48回実施	A		市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を41回実施（予定を含む）	公民館

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般 公害の防止	環境に関する情報の収集・公開（広報等）	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)	
			環境関連講座の開催	実施していない	B	実施予定なし	環境課 (H24～生活環境課)	
			環境調査の実施（項目等の見直し・充実）	これまでと同様に必要な環境調査を実施するとともに、環境の変化に合わせ、項目の見直し等を行っている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)	
			自動車による大気汚染の低減 (自動車利用の抑制、エコドライブの推奨)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進した。 庁用車2台にアイドリングストップ装置を試験的に導入し、効果の検証を行った。 月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行った。 エコドライブ啓発ステッカーを庁用車に掲出した。 市職員を対象にエコドライブ講習会を実施した。（実技：1月23日6人、座学：2月7日116人） 	A	<ul style="list-style-type: none"> 市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進する。 給油量と給油時の走行距離を把握し、燃費の記録・確認を行う。 月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行う。 庁用車へのエコドライブ啓発ステッカー掲出を継続する。 事業者向けのエコドライブ実践中ステッカーを作成し、配布する。 エコドライブ講習会を実施する。 	環境課 (H24～環境政策課)	
				CO2排出及び大気汚染の要因となる本庁舎の庁用自動車の燃料について、平成22年度比で1,212ℓ（3.8%）の削減が図られた。	A		公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、CO2の排出量の削減（庁用自転車活用を含め）を推進する。	総務課
			公共交通機関等の利用促進 (駐輪場の整備、るのバス等の充実)	会議回数5回 JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組んでいる。	A	A	JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組む。	企画政策課
				「低排出ガス重量車」に認定されている車両をコミュニティバスとして導入している（H23年度購入車両：るのバス）。	A		引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する。（H23年度購入車両：るのバス）。	地域防災課
			低公害車の率先導入	「低排出ガス重量車」に認定されている車両を消防車として導入している（H23年度購入車両：第1分団第1部及び第4分団第3部のポンプ車）。	A	A	買い替えが必要となる第6分団本部のポンプ車について、「低排出ガス重量車」に認定されている車両を導入する。	地域防災課
				低公害車3台の導入	A		低公害車4台の導入予定	総務課
			低公害車の普及・啓発（情報提供）	東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図った。	A		平成23年度と同様である。	環境課 (H24～環境政策課)
			粉じん防止対策の充実	粉じん苦情件数：2件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A		都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課 (H24～生活環境課)
			悪臭防止対策の充実	悪臭苦情件数：11件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A		都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課 (H24～生活環境課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	重点	事業所排水対策	排水水質調査・是正指導	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施した結果、環境基準を超過した事業所はなかった。	A	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施する。	環境課 (H24～生活環境課)
			生活排水対策	下水道への接続啓発・普及	広報、接続依頼通知の発送、戸別訪問によるチラシの配布を行った。	A	平成23年度と同様である。	下水道課
				下水道の整備	下水道の整備面積3ヘクタールを実施した。	A	下水道の整備面積約5ヘクタールを実施する予定である。	下水道課
				合併処理浄化槽の設置補助(補助金)	合併処理浄化槽設置補助基数：15基 既存単独浄化槽撤去補助基数：1基 生活排水対策の一環として、国、都、市で下水道設置認可区域外における合併処理浄化槽設置に補助金を交付した。	A	制度等については、前年度と同様である。 補助件数として、 設置補助基数：16基(目安) 単独浄化槽撤去補助基数：1基(目安)	環境課 (H24～生活環境課)
		一般	家庭・事業所排水対策(普及・啓発の実施)	水質汚濁(排水に係るもの)苦情件数：1件 合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。	A	合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。	環境課 (H24～生活環境課)	
			下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討	実施していない	C	実施予定なし	下水道課	
			工場・事業場からの騒音防止対策の充実	工場・事業場に関する騒音苦情件数：0件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	環境課 (H24～生活環境課)	
			道路交通騒音対策の実施(都等への要望)	実施していない	C	要望に応じ実施する。	建設課	
			近隣騒音防止対策の充実(啓発・指導)	近接騒音苦情件数：10件 苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行っている。	A	苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行う。	環境課 (H24～生活環境課)	
			航空騒音対策の実施(関係機関への要請)	苦情件数：22件 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要請している。 未然防止措置として、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請している。	A	苦情件数：8件 (平成24年6月8日現在) 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要望する。また、未然防止措置として、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請する。	企画政策課	
			有害化学物質に係る情報の充実(情報提供)	東京都等を通じて寄せられる有害化学物質の情報等について、必要に応じて周知を図っている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)	
			有害化学物質の使用の適正化の促進(届出に係る指導)	有害化学物質使用届出件数：12件 有害化学物質を使用している事業者に対し、毎年、使用量報告を提出してもらい、使用の適正化を推進している。	A	有害化学物質使用届出件数：12件(目安) 平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般 公害の防止	振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	振動苦情件数：2件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。		環境課 (H24～生活環境課)	
			土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	土壌汚染調査結果報告書提出件数：2件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導している。	A	土壌汚染調査結果報告書提出件数：1件（目安） 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導する。		環境課 (H24～生活環境課)	
			家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設の整備）	・畜産農家の巡回指導を実施 ・畜産衛生管理に対する補助金の支出	A	・畜産農家の巡回指導を実施 ・畜産衛生管理に対する補助金の支援		農林課	
			地下水保全対策の充実（揚水規制）	地下水揚水量報告書提出件数：18件 一定規模以上の揚水施設を設置する際は届出書を提出してもらおうとともに、毎年、揚水量報告書を提出してもらい、適正な地下水の揚水に努めている。	A	A	地下水揚水量報告書提出件数：18件（目安） 平成23年度と同様である。		環境課 (H24～生活環境課)
				かん水施設管理組合が維持管理している。	A	かん水施設管理組合が維持管理していく。		農林課	
		光害防止対策の研究	光害に対する苦情件数：0件 現在のところ、光害に対する苦情は寄せられていないが、国のガイドラインの内容の把握など、研究に努めている。	A	国のガイドラインの内容の把握など、研究に努める。		環境課 (H24～生活環境課)		
		重点 循環型社会の構築	循環型社会構築の推進	「ごみ会議」の運営・推進	・全体会議開催11回 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・生ごみ処理講習会の開催 ・落葉の堆肥化の取組 ・リサイクルフェアへの参加 など	A	平成23年度と同様である。		環境課 (H24～生活環境課)
				ごみ減量・リサイクル意識の啓発（情報誌「へらすぞう」の発行等）	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的にリサイクルフェアを年2回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）、秋には、環境問題啓発ポスター展示を実施。情報誌「へらすぞう」発行1回	A	平成23年度と同様である。		環境課 (H24～生活環境課)
				落ち葉の堆肥化の推進	市内、2か所の公園に堆肥化枠を設置し、地元町内会やごみ会議の協力を得て落葉の堆肥化を実践した。	A	平成23年度と同様である。		環境課 (H24～生活環境課)
		一般	グリーン購入の推進（考え方や商品等の紹介・PR）	実施していない	C	へらすぞう等で周知を図る。		環境課 (H24～生活環境課)	
			省資源（レジ袋削減・簡易包装等）・ロングライフ（長寿命）化の推進（情報提供・意識啓発）	リサイクルフェア及びへらすぞうで啓発した。	A	平成23年度と同様である。		環境課 (H24～生活環境課)	
			エコショップ認定制度の検討	実施していない	C	商工会の協力を得て検討する。		環境課 (H24～生活環境課)	
		実施していない		C	実施予定なし		商工観光課 (H24～観光商工課)		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課
				実績	評価	予定・進捗	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般 循環型社会の構築	リサイクルフェアの実施	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的に年2回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）秋には、環境問題啓発ポスター展示等を実施	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			廃食油石けんづくりの普及	廃食油を利用した石けんづくりは、現在のところ3団体（年間13回）が実施しており、秋のリサイクルフェアでは、来場者に配布し、普及を図っている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			生ごみリサイクルの促進 (生ごみ処理機導入補助・EM菌バケツ貸出)	生ごみ堆肥化処理機器購入費の補助及びEM菌バケツ貸与、段ボール方式生ごみ処理講習会の実施 コンポスト 12基 EM菌バケツ 108世帯 209個	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			省資源型経営の推奨	実施していない	C	周知方法等を検討する。	環境課 (H24～生活環境課)
			ごみの戸別収集・有料化	ごみの分別の徹底や排出者責任を明確にすることにより、ごみの減量・資源化の向上を目的とし、平成16年4月より実施。 (平成22年度：23,775 t →平成23年度：23,774 t)	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			資源集団回収の実施	ごみの減量、資源化を推進し資源循環型社会の推進を図る。 105団体 回収量 2,016トン	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			ペットボトル等拠点回収実施	毎週2回拠点回収した。 回収箇所 113箇所 回収日数 104日 回収量 133トン	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			新たなリサイクルシステムの検討	実施していない	C	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			剪定枝等のリサイクル方法の検討	平成22年度に落葉の堆肥化枠を2基設置したが、23年度も新たに1基設置した。	A	平成24年度も継続していく。	環境課 (H24～生活環境課)
			放置自転車リサイクルの実施	市が管理する自転車等駐車場に放置された自転車39台を公共若しくは公共的団体に無償譲渡し、再活用してもらっている。	A	引き続き、公共機関等での再利用に取り組む。	地域防災課
			環境低負荷型の収集の実現 (効率的な収集ルートを選定、収集車の低公害化)	委託事業により、環境低負荷型の収集を行った。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			ごみ焼却に伴う環境負荷の低減 (ダイオキシン類の発生抑制等)	市のごみは、西秋川衛生組合の焼却場で焼却処理しているが、環境基準に対応するよう施設の管理をしている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			清掃工場の適正管理	西秋川衛生組合において、環境基準に対応するよう定期的に施設の点検・整備を行っている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	公園の整備の推進	・公園の植樹 400本 ・民間遊び場の補助 3件	A	A	・公園の植樹 50本予定 ・道路の植樹 道路新設状況による ・民間遊び場の補助 申請により交付	管理課		
				平成23年度については実施していない	B		実施予定なし	建設課		
				実施していない	C		実施予定なし	区画整理推進室		
				環境委員会において公園等の樹木の伐採のあり方について指摘があったため、担当課に対し配慮を呼びかけた。	B		樹木の枝の剪定や伐採をする際は、必要最小限に留めるよう注意喚起する。	環境課 (H24～環境政策課)		
			緑化の推進（開発時の緑化指導）	ふるさとの緑地保全条例に基づき緑化指導を行っている。	A	A	ふるさとの緑地保全条例に基づき緑化指導を行う。	環境課 (H24～環境政策課)		
				開発指導要綱に基づき指導を行っている。	A		平成23年度と同様である。	都市計画課		
			緑化の効果のPR	春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの種を配布した。	A	A	春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗及び種を配布するとともに、グリーンカーテン講習会を実施する。また、グリーンカーテンコンテストを実施する。	環境課 (H24～環境政策課)		
		重点	市街地における緑の確保	地元野菜の普及・活用（食育）	施設園芸（温室等）化	要望調査を実施した。 3直売所の農作物売上調査を実施した。	A	A	要望調査を実施する。 3直売所の農作物売上調査を実施する。	農林課
					保育園給食等への供給検討・実施	学校給食への導入を検討した。	B	B	学校給食への導入を進める。	農林課
					地元産野菜を題材にした食育の推進	学校給食に市内産のらぼう菜を使用した。	A	A	学校給食にのらぼう菜以外の野菜の使用を検討する。	農林課
				「めざせ健康あきる野21」計画に基づき地元産の食材をテーマにレシピを募集し調理講習会を実施した。	A	ファーマーズセンター等へ安心安全な食材を地産地消するレシピの設置を実施する。	健康課			
				農業の振興・支援	後継者の育成支援	補助金の支出 先進地の視察を実施した。 農業委員との意見交換を行った。	A	A	補助金の支援 先進地視察の実施 農業委員会との意見交換会の実施	農林課
		獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵の貸し出し） わな免許取得の支援 箱わな58台活用 獣害被害108件（昨年度より3件減少）	A	A	獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵の貸し出し） わな免許取得の支援	農林課				
		農地の適正管理と活用	生産緑地制度の推進・管理追加指定（希望者把握・協議）	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導をした。 定期的なパトロールは年1回実施。 生産緑地の追加指定を随時実施している。	A	A	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導をする。 定期的なパトロールは年1回実施する。 生産緑地の追加指定を随時実施している。	農林課		
			申請がなかったため生産緑地の追加指定を行わなかった。	A	実施予定あり。6月末までの申請については平成24年度に都市計画決定を行う予定である。		都市計画課			
市民農園制度の活用 取組方策の検討（遊休農地の活用ほか）	市民農園は、空き区画が残っており、新規開園は行わなかった。 市民農園利用者に農業講習会を年2回実施した。		A	A	規模の大きい市民農園の開設を検討する。 市民農園利用者に農業講習会を年2回実施する。	農林課				

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課		
					実績	評価	予定・進捗				
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	市街地における緑の確保	保存樹木・保存緑地の指定	保存樹木の指定を推進した。	A	保存樹木の指定を推進する。		環境課 (H24～環境政策課)		
				みどりの大切さのPR	地球温暖化対策として、広報・ホームページでPRした。	B	地球温暖化対策として、PRを続けるとともに。生物多様性地域戦略策定に関連してPRを検討する。		環境課 (H24～環境政策課)		
		重点	魅力ある川づくり	市民参加による清流の保全	清流保全協力員活動 (看板の設置等)	清流保全条例に基づき設置した清流保全協力員の協力のもと、河川パトロール、水質調査(COD)、ホタルの生息状況調査等を実施している。	A	平成23年度と同様である。		環境課 (H24～生活環境課)	
					市民参加型イベントの検討・実施	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査「ガサガサで生きもの調べ」を企画したが、雨天・増水のため、中止となった。(8月27日)	B	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査「ガサガサで生きもの調べ」を実施予定。		環境課 (H24～環境政策課)	
					活動の公表の検討	実施していない	C	実施予定なし		環境課 (H24～環境政策課)	
								実施予定なし		環境課 (H24～生活環境課)	
					河川景観の整備	河川管理者に依頼し、草刈り等を行った。(5か所)	A	平成23年度と同様である。		環境課 (H24～生活環境課)	
						実施していない	C	実施予定なし		建設課	
				川遊びのマナー等の向上 (マナーの周知・清掃活動・不法投棄防止)	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行っている。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努めた。	A	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行う。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努める。		環境課 (H24～生活環境課)		
				ホタルが棲める川づくり	ホタルが見られる場所の調査	実施していない	C	実施予定なし		環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
						清流保全協力員の協力のもと、ホタルの生息状況調査を実施した。また、過去の調査結果を参考に自然環境調査においても、生息状況の確認を行った。	A	A	清流保全協力員の調査結果を参考に、自然環境調査においても、生息状況の確認を行う。	環境課 (H24～環境政策課)	
					ホタルが棲める川づくり (ホタルの保護など)	ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に実施している河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組について、ホタルの里づくり推進事業補助金を交付により支援をした。支援は、深沢自治会ほたるの会、南郷用水ホタルの会(雨間町内会)、落合自治会ほたるの会の3団体である。 また、圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園については、区域内に水路もありホタルが生息しているため、菅生ホタルの里づくりの会に対し、公園内の清掃等や水路の美化等によるホタルの保全活動を業務委託している。	A	A	平成23年度の取組を継続する。		環境の森推進室 (H24～環境政策課)
						実施していない	C	実施予定なし		環境課 (H24～環境政策課)	
				子どもの水辺事業の推進	平井川こどもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席(1回 7月5日) ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示	A	平井川こどもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席(1回 7月5日) ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示		生涯学習推進課		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般 魅力ある川づくり	親水散策路の整備の推進（再掲）	実施していない	C	実施予定なし		建設課	
			あきる野百景の保全・活用の検討	商工観光課において作成した「みんなで歩くあきる野百景めぐり」のパンフレット作成プロジェクトチームに参加した。	A	観光商工課において「みんなで歩くあきる野百景めぐり」のパンフレットを活用しながら、観光ボランティアの取組を実施する。		環境課 (H24～環境政策課)	
			散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等を行った。	A	A	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等の対応を図る。		商工観光課 (H24～観光商工課)
				実施していない	C	実施予定なし		建設課	
			水と緑のマップの充実	自然環境調査結果に基づき「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットを作成した。	A	「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を無料配布し、市民への周知を図るとともに、生物多様性地域戦略策定の中で検討する。		環境課 (H24～環境政策課)	
	美しく清潔なまちの形成	重点	良好な街並みづくり（地区計画） （区画整理事業区域・線引き変更箇所）	・事業計画の策定 ・自然環境調査の実施 ・まちづくり協議会の開催 （勉強会含む計6回実施）	A	A	・都市計画決定への資料作成 ・事業認可への資料作成 ・まちづくり協議会の開催 （計6回予定）		区画整理推進室
				平成23年度については実施していない	A	線引き変更に伴い検討する。		都市計画課	
			歩きやすいみちづくり（散策路、遊歩道の整備）	平成23年度については実施していない	A	実施予定なし		建設課	
		市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等を行った。		A	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等の対応を図る。		商工観光課 (H24～観光商工課)		
		平成23年度は、7つの町内会・自治会により、昔道・尾根道の整備が行われており、8つの自治会により、景観整備が行われている。これらの事業の実施により、武蔵五日市駅から瀬音の湯までのコースをはじめ、既存の登山道などとあわせていくつかのコースが確保された。これに加え、景観整備により植えられた樹木等は、散策等で訪れる観光客の目を楽しませている。		A	A	平成23年度の取組を継続する。		環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
		一般	景観の整備	良好な街並みづくり（地区計画の活用）	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進めている。	A	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進める。		都市計画課
				景観保全・形成の方向性の決定 （都市景観ガイドラインの策定等）	実施していない	C	C	未定	
			実施していない		C	実施予定なし		環境課 (H24～環境政策課)	
			市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発 （a.マナーやルール、b.まちづくり教育・組織づくり）	・二宮まちづくり協議会開催（視察研修含む計3回開催） ・引田まちづくり協議会開催（勉強会含む計6回開催）	A	A	・二宮まちづくり協議会開催（視察研修含む計3回予定） ・引田まちづくり協議会開催（勉強会含む計6回予定）		区画整理推進室
				実施していない	C	実施予定なし		環境課 (H24～環境政策課)	
				商店街の景観整備	実施していない	C	装飾灯の設置予定なし		商工観光課 (H24～観光商工課)
			まちかど広場等の整備	平成23年度については実施していない	B	実施予定なし		建設課	
		買い物マップの作成	実施していない	C	未定		商工観光課 (H24～観光商工課)		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	景観の整備	観光スポットのPR	ホームページ、携帯サイトでの情報発信やパンフレットの設置により、PRを行った。	A	ホームページ、携帯サイト及びFacebook等での情報発信やパンフレットの設置により、PRを図る。	商工観光課 (H24～観光商工課)	
				不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去	1,730枚を撤去した。	A	900枚の撤去を予定している。	管理課	
				電線の地中化の検討	実施していない	C	実施予定なし	区画整理推進室	
		実施していない	C		実施予定なし	管理課			
		重点			たばこ・ごみのポイ捨て防止（意識啓発）	たばこのポイ捨てについては、産業祭でマナー向上の普及を行った。また、JRとマナー向上に向け協議を行った。ごみのポイ捨てについては、ごみ捨て禁止、不法投棄禁止の看板を設置している。	A	産業祭でたばこのマナー向上の普及を行う。また、市内5駅周辺での喫煙状況を調査し、喫煙マナーアップキャンペーンの実施を検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
					ごみ捨て禁止、不法投棄禁止の看板を設置する。		環境課 (H24～生活環境課)		
					一斉清掃の実施	年2回、春、秋に実施 春15,356人参加 26.32トン収集 秋15,423人参加 27.98トン収集	A	平成23年度と同様に実施する。	環境課 (H24～生活環境課)
					ボランティア活動の推進 (ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収)	配布箇所 11施設 配布枚数 ・可燃大 787組 ・可燃小 222組 ・不燃大 353組 ・不燃小 183組	A	平成23年度と同様に実施する。	環境課 (H24～生活環境課)
		一般	清潔なまちづくり		ポイ捨て防止などの対策の研究	ポイ捨て防止対策についてJRと協議を行った。	B	市内5駅周辺でのたばこの吸殻のポイ捨て状況を調査する。	環境課 (H24～環境政策課)
					実施予定なし		環境課 (H24～生活環境課)		
					不法投棄防止対策の充実	シルバー人材センターに委託し、不法投棄防止パトロールの実施及び不法投棄がされやすい場所に不法投棄防止の看板を設置している。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
		一般			ごみ会議の開催	・全体会議開催11回 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・生ごみ処理講習会の開催 ・落葉の堆肥化の取組 ・リサイクルフェアへの参加 など	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
					道路・公園・公共建物等の適正管理の実施	従来どおりの管理を実施	A	従来どおり管理を実施	建設課
						アダプト制度を導入し、市民団体等による管理を実施した。	A	アダプト制度の登録団体の拡大を行い、市民団体等による管理を実施する。	管理課
			一斉清掃の実施や、ボランティアとして清掃する人にボランティア袋を配布した。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	清潔なまちづくり	空き地の適正管理	あき地の適正管理に対する苦情件数：28件 あき地の管理適正化に関する条例に基づき、管理のされていないあき地の所有者に対し、草刈り等を実施するよう指導している。	A	あき地の適正管理に対する苦情件数：20件（目安） 平成23年度と同様である。	環境課 （H24～生活環境課）	
				ペットの飼い方等の意識啓発	広報紙等によりペットの飼い方等の啓発活動を実施した。	A	平成23年度と同様に継続実施する。	健康課	
				苦情対策	ペットに関する苦情件数：1件 ペットに関する苦情については、東京都や健康課と連携し対応しているところであり、環境衛生の観点から、可能な範囲で、飼い主に対して適正な飼育の依頼をしている。	A	ペットに関する苦情件数：1件（目安） 平成23年度と同様である。	環境課 （H24～生活環境課）	
					（犬のフン、鳴き声の苦情）苦情者等に啓発用注意看板（小看板）を配布、また、広報紙等によりマナーを守るよう啓発活動を実施した。	A	（犬のフン、鳴き声の苦情）苦情者等に啓発用注意看板（小看板）を配布、また、広報紙等によりマナーを守るよう啓発活動を継続実施する。	健康課	
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	市全体での省エネルギーの推進	地球温暖化対策地域推進計画の策定	あきる野市地球温暖化対策地域推進計画策定検討委員会を立ち上げ、検討を進めた。（H23.11.18、H24.2.28計2回）	B	地球温暖化対策地域推進計画を策定予定	環境課 （H24～環境政策課）	
				一般	市全域の温室効果ガス排出量の把握	299.6千トン-CO2（2009年） ※出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量算定結果：多摩地域の温室効果ガス排出量（1990年度～2009年度）	A	オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において温室効果ガス排出量を算定する。	環境課 （H24～環境政策課）
		重点		省エネ教育の推進	学校での教育プログラムの実施	節電、節水に関する授業を全校で取り組んだ。また、ゴーヤなどの育成を通して省エネ教育に取り組んだ。	A	環境教育の授業を全校で取り組む。	指導室
					事業所への働きかけ	商工会で独自に施策を実施したため、市においては東京都で実施する省エネ診断等のリーフレットを設置するなど情報提供を行った。	B	商工会に対し、情報提供を行っていく。	環境課 （H24～環境政策課）
		重点		制度の検討	国や都、他自治体の取組について情報収集を行った。	A	地球温暖化対策地域推進計画策定と併せ検討する。	環境課 （H24～環境政策課）	
		重点		カーボン・オフセットの活用	現行の取組の把握・整理・検証	実施していない	C	実施予定なし	農林課
						オール東京62市区町村共同事業「みどり東京温暖化防止プロジェクト」の一環で、秋のリサイクルフェアにおいて試験的にカーボンオフセットを実施した。	B	実施予定なし	環境課 （H24～環境政策課）
					広域的な連携による研究	実施していない	C	実施予定なし	農林課
						オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において試験的にカーボン・オフセットを実施した。（あきる野市では、秋のリサイクルフェアでカーボン・オフセットを実施した。）	B	実施予定なし	環境課 （H24～環境政策課）
		森づくりと連携したカーボン・オフセットの仕組みづくり・活用の検討		港区や新宿区の取組に対し、森林の提供を行った。	A	港区や新宿区の取組に対し、森林の提供を行う。	農林課		
実施していない	C		実施予定なし	環境課 （H24～環境政策課）					

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課			
				実績	評価	予定・進捗					
エネルギー 環境	省エネルギーの推 進	重点	自動車対策	エコドライブの普及・啓 発	各種支援制度の利用等の検 討	・エコドライブ実技講習会：平成24年1月23日実施（午 前・午後各1回、拜島自動車教習所、受講者：6人） ・エコドライブ座学講習会：平成24年2月7日実施（2 回、庁舎会議室、受講者：116人）	A	エコドライブ講習会を実施する。	環境課 （H24～環境政策課）		
					啓発の実施	・アイドリングストップ装置を庁用車2台に試験的に導入 した。 ・庁用車にエコドライブ啓発ステッカーを掲出した。 ・市職員を対象にエコドライブ講習会を実施した。（実 技：6人、座学：116人） ・庁内情報システムの掲示板を利用し、月末にタイヤの 空気圧の確認の呼びかけを行った。	A	・庁用車2台のアイドリングストップ装置の装着を 継続し、効果検証を行う。 ・庁用車へのエコドライブ啓発ステッカーの掲出を 継続する。 ・庁用車の燃費把握を行う。 ・庁内情報システムの掲示板を利用し、月末にタイ ヤの空気圧の確認及び給油時の燃費確認の呼びかけ を行う。	環境課 （H24～環境政策課）		
					講習会（座学・実技）等の 開催	・エコドライブ実技講習会：平成24年1月23日実施（午 前・午後各1回、拜島自動車教習所、受講者：6人） ・エコドライブ座学講習会：平成24年2月7日実施（2 回、庁舎会議室、受講者：116人）	A	市職員及び市内事業者を対象に講習会を実施予定	環境課 （H24～環境政策課）		
						公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づ き、内部監査で職員に把握状況の確認をすとともに毎月 の庁用自動車の点検時に総務課長から指導している。	A	A	公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づ き、啓発、普及をしていくとともに毎月の庁用自 動車の点検時に総務課長から指導していく。	総務課	
						実施していない	C		実施予定なし	職員課	
					自転車利用の促進	施設整備の実施	実施していない	C	B	実施予定なし	地域防災課
							平成23年度については実施していない	B		実施予定なし	建設課
						自転車優遇方策の検討	実施していない	B	実施予定なし	環境課 （H24～環境政策課）	
						「車に乗らない日」の普及・啓発	実施していない	C	実施予定なし	環境課 （H24～環境政策課）	
					一般	自動車対策	公共交通機関の利用促進	実施していない	C	A	実施予定なし
		会議回数5回 JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR五日市 線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組ん でいる。	A	JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR 五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上 に取り組む。				企画政策課			
		自転車専用のインフラ整備	実施していない	C			実施予定なし	建設課			
		低公害車の率先導入（再掲）	低公害車3台の導入	A			低公害車4台の導入予定	総務課			
			「低排出ガス重量車」に認定されている車両を消防車、 コミュニティバスとして導入している（H23年度購入車 両：第1分団第1部、第4分団第3部のポンプ車及びの バス）。	A	A	買い替えが必要となる第6分団本部のポンプ車につ いて、「低排出ガス重量車」に認定されている車両 を導入する。	地域防災課				

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
エネルギー環境	省エネルギーの推進	一般	自動車対策	低公害車の普及・啓発（再掲）	東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図っている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～環境政策課)	
				燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施 (エコエネルギーステーションの設置研究ほか)	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)	
		重点	省エネルギー対策の普及・啓発	情報提供と協力呼びかけ	春のリサイクルフェアにおいて、太陽エネルギー見本市を開催し、太陽光発電システムと太陽熱利用機器の紹介を行った。また、産業祭における環境展において、冬の省エネに関するチラシを作成するとともに、冬期の省エネの呼びかけを行った。 省エネモニターに対し、啓発用のチラシ等を配布した。	A	春のリサイクルフェアにおいて、太陽エネルギー見本市を開催し、太陽光発電システムと太陽熱利用機器の紹介を行う。	環境課 (H24～環境政策課)	
				セミナーの開催	実施していない	C	未定	環境課 (H24～環境政策課)	
			省エネ型生活10か条・環境家計簿の普及	省エネ型生活10か条・環境家計簿の普及	ホームページで周知を図るとともに、省エネモニター登録者へ改めて周知を行った。	A	引き続き普及・啓発を図る。	環境課 (H24～環境政策課)	
				省エネモニター制度の実施	これまでのモニターに加え、新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の受給者をモニターに登録した。 (省エネモニター登録数 継続者53+補助金受給者39=92世帯) また、モニターには各家庭からのCO2排出量を算定し、フィードバックするとともに、市ホームページにもデータの掲載を行った。	A	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の受給者をモニターに登録する。また、モニターには各家庭からのCO2排出量を算定し、フィードバックする。	環境課 (H24～環境政策課)	
			雨水貯留槽設置の導入促進	雨水貯留槽の設置支援	設置費補助53件 計775,000円 (補正予算対応あり)	F		環境課 (H24～環境政策課)	
			一般	電力使用量の削減	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発 (エコハウス等の情報提供)	・パンフレット等を設置し、周知を行った。 ・太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。 補助件数39件(太陽22・太陽熱1・エコキュート12・エコジョーズ4) ・東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、節電・省エネの呼びかけを行った。(広報・ホームページ掲載、町内会・自治会各戸配布、ポスター掲示、パンフレット設置等)	A	パンフレット等を設置し、周知を行う。 太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行う。 電力需給に対応するため、節電・省エネの呼びかけを行う。	環境課 (H24～環境政策課)
					事業者への省エネルギー対策の普及・啓発	広報、ホームページで周知を図るとともに、商工会へ情報提供を行った。	A	ホームページで周知を図るとともに、商工会へ情報提供を行う。また、地球温暖化地域推進計画策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
					事業所のエネルギーマネジメントの普及	実施していない	C	地球温暖化対策地域推進計画策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
					中小事業所や商店に対する普及・啓発	東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、広報・ホームページ及び商工会を通じて節電・省エネの呼びかけを行った。	A	広報・ホームページ及び商工会を通じて節電・省エネの呼びかけを行う。	環境課 (H24～環境政策課)
					公共施設での「あきる野エコ活動」の推進	公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、庁舎の電気使用量について、平成22年度比で188,297kwh(12.75%)の削減が図られた。	A	節電対策と併せ公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、より一層の削減を実施する。	総務課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
エネルギー 環境	新エネルギーの導入	重点	家庭における新エネルギー・省エネルギー機器の導入促進	情報提供と普及促進	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金制度に合わせ、太陽エネルギー見本市を実施した。また、広報・ホームページで周知を図った。	A	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金制度に合わせ、太陽エネルギー見本市を実施する。また、広報・ホームページで周知を図る。	環境課 (H24～環境政策課)	
				新エネルギー・省エネルギー機器の設置支援	太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。 ・補助件数39件(太陽光22・太陽熱1・エコキュート12・エコジョーズ4、エコウィル0、エネファーム0)	A	住宅の新エネルギー・省エネルギー機器の設置に対し、補助金を交付する。 (補助予定数：太陽光20、太陽熱8、エコキュート10、エコジョーズ10、エコウィル2、エネファーム2)	環境課 (H24～環境政策課)	
		一般	新エネルギー技術の活用	事業所での新エネルギーの導入促進	都と連携し、商工会・商工観光課を通じて情報提供を実施した。	A	都と連携し、商工会・観光商工課を通じて情報提供を実施していく。	環境課 (H24～環境政策課)	
				新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	春のリサイクルフェアにおいて、東京都が実施する太陽エネルギー見本市を実施した。	A	春のリサイクルフェアにおいて、東京都が実施する太陽エネルギー見本市を実施する。	環境課 (H24～環境政策課)	
				木質バイオマスの利用促進	木質バイオマスを活用し、温浴施設のボイラー燃料供給を行った。	A	A	木質バイオマスを活用し、温浴施設のボイラー燃料供給を図る。	商工観光課 (H24～観光商工課)
					実施していない	C		実施予定なし	農林課
					実施していない	C		実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
				普及啓発・環境教育の実施	温浴施設での見学受入件数：5件 視察等に応じ対応を行った。	A	A	視察等の受け入れを図る。	商工観光課 (H24～観光商工課)
					実施していない	C		実施予定なし	農林課
		実施していない	C		実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)			
		一般	リサイクル型エネルギーの利用	焼却炉の効率的な稼働の促進	西秋川衛生組合に対し要請している。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)	
				ごみ焼却余熱の利用	西秋川衛生組合において、可能な限り利用している。	B	B	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
					職員の手洗い用の温水に利用している。	B		平成23年度と同様である。	西秋川衛生組合
		一般	最新動向の把握及び調査研究	新たな新エネルギー技術の導入検討	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
					未設置施設への導入検討を行った。(平成23年度については導入なし)	B		引き続き検討を行う。	施設営繕課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課
				実績	評価	予定・進捗		
エネルギー 環境	森林・緑地の拡大 によるCO2の吸収	一般 森林の保全	森林のCO2吸収量に関する普及・啓発	二酸化炭素固定化認証制度の登録制度を整備した。	A	A	二酸化炭素固定化認証制度の登録制度の普及・啓発を図る。	農林課
				実施していない	C		地球温暖化対策地域推進計画策定の中で検討していく。	環境課 (H24～環境政策課)
				実施していない	C		実施予定なし	指導室
			森林等の適正管理・保全の促進（再掲）	森林再生事業（間伐）を実施した。	A	A	森林再生事業（間伐）を実施する。	農林課
				実施していない	C		生物多様性地域戦略や地球温暖化対策地域推進計画を策定する中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
			総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業を実施した。	A	A	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業を実施する。	農林課
			地域林業の活性化（再掲）	郷土の恵みの森づくり事業による積極的支援を実施した。	A	A	郷土の恵みの森づくり事業による積極的支援の実施を図る。	農林課
			材木生産の合理化とブランドイメージの向上	二酸化炭素固定化認証制度の登録制度を整備した。	A	A	二酸化炭素固定化認証制度の登録制度の普及・啓発を図る。	農林課
				実施していない	C		実施予定なし	商工観光課 (H24～観光商工課)
		木材加工産業の育成	東京都補助金の支援など	A	A	秋川木材協同組合、あきがわ木工連への支援を図る。	農林課	
			実施していない	C		実施予定なし	商工観光課 (H24～観光商工課)	
		一般 緑化の推進	街路樹、公園樹木の拡大	実施していない	C	A	植栽を行う道路整備計画がない。	建設課
				萩野公園にヒラドツツジを400本植樹した。	A		公園に50本植樹予定	管理課
				実施していない	C		生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
			家庭等での植樹の推進（再掲）	緑化の取組の一つとして、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの種の配布を行った。植樹の取組については実施できていない。	B	A	緑化の取組の一つとして、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗及び種の配布を行う。また、植樹の取組については、生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
				産業祭において、市民に対し苗木の無料配布を行った。	A		産業祭において、市民に対し苗木の無料配布を行う。	農林課
			グリーンリサイクル（落ち葉・剪定枝）の推進（再掲）	平成22年度に落葉の堆肥化枠を2基設置し、堆肥化を図った。また、23年度も新たに1基設置した。	A	A	平成24年度も継続していく。	環境課 (H24～生活環境課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般 情報の共有	「環境白書」の作成・公表	平成22年度環境白書を発行するとともに、ホームページ等で公表した。	A	平成23年度環境白書を発行する。	環境課 (H24～環境政策課)	
			環境に関する情報の収集・公開	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～環境政策課)
				環境に関する図書を131冊購入し、貸出等の提供を行った。	A		環境に関する図書を120冊購入予定	図書館
			研究・活動実績等の発表の場づくり	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)	
			環境情報サイトの立ち上げ	市の環境調査結果をホームページで公表している。また、必要に応じてホームページや広報で情報提供を行った。	B	ホームページ等で情報提供を行っていく。	環境課 (H24～環境政策課)	
			環境情報コーナー等の機能整備の検討	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
		図書館における環境情報コーナーの位置付け、設置・提供方法等について検討を行った。		B	中央図書館2階、展示図書コーナーで、6月の環境月間に合わせて、関連図書・資料の展示を行う予定		図書館	
		重点 環境教育の推進	環境教育の場の充実	自然環境調査において観察会等を実施した。 ・ガサガサで生きもの調べ（8月27日中止） ・雨武主神社の森を調べよう（11月23日） ・自然観察会（五日市湖、化石観察）（11月26日）	A	A	自然環境調査において、観察会等を実施予定	環境課 (H24～環境政策課)
				菅生若宮子ども体験の森事業により、里山体験や環境学習、森の遊び体験などを行った。また、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子コレンジャーとして組織（小学校4年生から中学1年生までの19人）し、1年間、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。さらに、産学官が連携した森づくりにより、環境教育イベントを3回実施した。	A		平成23年度を取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				「CO2削減アクション月間」を通して、学校や家庭での節電・節水に取り組むとともに、自然体験活動などの環境教育の充実に努めた。	A		「CO2削減アクション月間」を通して、学校や家庭での節電・節水に取り組むとともに、自然体験活動などの環境教育の充実に努める。	指導室
				あきる野親子ふれあい塾「あきる野自然体験教室」を実施した。	A		生涯学習コーディネーターの会との協働により、登録者を活用した講座を開催する。	生涯学習推進課
				市民カレッジ人材養成入門・専門講座の自然史で「地質から見た自然観察」を実施した。また、親子自然体験学習で、「横沢入でホテルと眠る植物の観察」を実施した。	A	市民カレッジ人材養成入門・専門講座の自然史で「野鳥・植物・地質から見た自然観察」を実施する。また、親子自然体験学習で、「横沢入でホテルと眠る植物の観察」を実施する。	公民館	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課			
				実績	評価	予定・進捗				
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	重点	環境教育の推進	人材の育成及び活用	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)	
					あきる野親子ふれあい塾「あきる野自然体験教室」を実施した。	A		生涯学習コーディネーターの会との協働により、登録者を活用した講座を開催する。	生涯学習推進課	
					市民解説員の認定を受けた解説員が市内を案内する市内探訪（5回）、学校等からの解説依頼を受け実施する解説依頼（26回）を実施した。	A		市民解説員の認定を受けた解説員が市内を案内する市内探訪、学校等からの解説依頼を受け実施する。市内探訪5回、解説依頼26回（予定）	公民館	
		一般	環境パートナーシップの形成	市民・事業者・市の協働事業等の推進	協働・団体等のネットワーク化	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
					環境委員会として産業祭に環境展を出展した。市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施した。環境の森推進室において、森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施した。（活動回数：18回、参加延べ人数428人（内訳…レンジャー：60、サポートレンジャー：191、地域177）	B	環境委員会として産業祭に環境展を出展する。市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施する。森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施する。		環境課 (H24～環境政策課)	
					問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	環境白書作成時の点検評価の際に、意見等の収集を行った。	A		平成23年度と同様である。	環境課 (H24～環境政策課)
		一般	様々な仕組みの検討	様々な仕組みの検討	財源の確保の検討	実施していない	C	A	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
					ボランティアの活用の仕組みづくり	自然環境調査をボランティアで実施した。また、環境の森推進室において、市民の森林サポートレンジャーあきる野を募集し、活動を行った。	B		自然環境調査をボランティアで実施する。また、森林サポートレンジャーあきる野や地元市民と活動を継続する。	環境課 (H24～環境政策課)
					点検・評価への参加の充実	平成22年度の施策進捗状況等をもとに点検評価を行い、環境白書を発行した。	A		平成23年度の施策進捗状況等をもとに点検評価を行い、環境白書を作成する。	環境課 (H24～環境政策課)
					家庭版・学校版ISO等の仕組み検討	実施していない	C		実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
					事業者のマネジメントシステム導入支援	実施していない	C		実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
					経済的手法の研究	実施していない	C		実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)

2 「関連指標」の評価一覧

【評価基準】
 A: 目標値を達成している
 B: 現在の取り組みを継続、拡大すれば目標値を達成できる
 C: 現在のままでは目標値の達成が困難と考えられるため、改善措置を講じる必要がある
 D: 目標を達成していない
 Z: 今年度は評価ができない

分野	展開方針	指標	目標（目標年度）	現状値	平成23年度		所管課
					実績	評価	
自然環境	1.あきる野市の自然を知る 2.あきる野市の自然を守る	「あきる野百景」の認知度 (アンケート調査等で把握)	70% (平成27年度)	—	把握していない	Z	環境課 (H24～環境政策課)
		あきる野版FD種の認知度 (アンケート調査等で把握)	70% (平成27年度)	—	あきる野版FD種が選定されていない。	Z	環境課 (H24～環境政策課)
		市内の緑地面積	現状維持	—	5775.23ha	A	都市計画課
生活環境	1.美しい川を守り育む	「清流」に対する市民満足度 (アンケート調査等で把握)	70ポイント (平成27年度)	—	把握していない	Z	環境課 (H24～生活環境課)
		生活排水処理率	88.7% (平成27年度)	83% (平成16年度)	92%	A	下水道課
		下水道接続率	98% (平成27年度)	87% (平成16年度)	96%	B	下水道課
		ホテルが見られる水辺の箇所数	現状以上 (現状を把握の上)	不明	約30か所	Z	環境課 (H24～生活環境課)
					把握していない	Z	建設課
		ホテルの保護等に係る助成金等の交付団体数	7団体 (平成27年度)	3団体 (平成16年度)	5団体 (菅生地区での委託事業と養沢活性化委員会のホテル部会を含む。)	D	環境課 (H22まで) 環境の森推進室 (H23～) (H24～環境政策課)
	川とのふれあいマナー実践度	60% (平成27年度)	—	把握していない	Z	環境課 (H24～生活環境課)	
				把握していない	Z	商工観光課 (H24～観光商工課)	
	2.農地・農業を守る	農産物直売所数	3件 (平成19年度)	2件 (平成16年度)	平成19年度に秋川渓谷瀬音の湯「朝露」が開設され、目標を達成している。	A	農林課
		あきる野産の農産物 (あきる野ブランド) 等の数	4件 (平成22年度)	2件 (平成16年度)	関東東海花店にあきる野産の花弁を出品した。	D	農林課
		地元野菜の活用件数	—	0件 (平成16年度)	学校給食での使用を検討した。	B	農林課
		生産緑地指定面積	現状以上	79.48ha (平成16年度)	73.08ha	B	都市計画課

分野	展開方針	指標	目標（目標年度）	現状値	平成23年度		所管課
					実績	評価	
生活環境	3.資源を循環させる	「へらすぞう」の発行回数	年間4回発行（平成27年度）	1回発行（平成16年度）	1回発行	D	環境課 （H24～生活環境課）
		市民一人一日当たりのごみ排出量	平成16年度比10%減（平成27年度）	893g（平成16年度）	792.5g	Z	環境課 （H24～生活環境課）
		市民一人当たり年間ごみ処理負担費	—	16,406円（平成16年度）	現段階では算出していない。	Z	環境課 （H24～生活環境課）
	4.美しいまちをつくる	街並み・景観に関する市民満足度 （アンケート調査等で把握）	30ポイント（平成27年度）	—	50.85%	A	都市計画課
		土地区画整理事業による街並み整備か所数	10か所（平成27年度）	7か所（平成19年度）	実施予定箇所8か所 現在1か所にて事業計画中	Z	区画整理推進室 都市計画課
		「歩きたくなる」みちの箇所数 （アンケート調査等により把握）	—	—	実施していない	Z	商工観光課 （H24～観光商工課）
		市民や来訪者の「歩きたくなる」度 （アンケート調査等で把握）	70ポイント（平成27年度）	—	把握していない	Z	建設課
		たばこ・ごみのポイ捨てに係る市民満足度 （アンケート調査等で把握）	70ポイント（平成27年度）	—	把握していない	Z	環境課 （H24～環境政策課）
	一斉清掃の実施回数、参加者数	現状維持	年2回、延べ28,898人 （平成16年度）	年2回 春、秋に実施 延べ30,779人	A	環境課 （H24～生活環境課）	
	エネルギー環境	1.省エネルギーの推進 2.新エネルギー（バイオマス技術）の導入	地球温暖化に関する環境教育実施校数	市内全校	未実施	小中学校全校で実施している。	A
家庭での電力使用量			平成15年度比5%減（平成27年度）	148,947MWh （平成15年度）	電力使用量での把握はできていない。 （参考） 市内の家庭からの二酸化炭素排出量 80.7千トン-CO2（平成21年度） ※出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量算定結果：多摩地域の温室効果ガス排出量（1990年度～2009年度）	Z	環境課 （H24～環境政策課）
環境家計簿等の普及状況、モニター登録者数			モニター登録100人（平成27年度）	—	92人	B	環境課 （H24～環境政策課）
省エネ生活10か条の認知度、定着状況 （アンケート調査等で把握）			50%（平成22年度） 80%（平成27年度）	—	把握していない	Z	環境課 （H24～環境政策課）
エコドライブ実践状況 （アンケート調査等で把握）			70%（平成27年度）	—	把握していない	Z	環境課 （H24～環境政策課）

3 環境調査結果

<平成23年度 秋川・平井川河川水質調査結果>

年間4回（5月、8月、11月、2月）実施の平均値

地点	項目	PH	BOD	SS	DO	大腸菌群数
		—	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
西青木平橋 (秋川)		7.7	<0.5	2.0	11.4	1,033
落合橋 (秋川)		7.9	0.6	1.0	11.7	
沢戸橋 (秋川)		7.8	0.7	1.0	11.8	
秋川橋 (秋川)		8.0	<0.5	2.0	11.7	1,525
天王沢 (秋川合流点)		7.7	0.7	<1.0	11.1	
三内川 (秋川合流点)		7.6	0.7	1.0	11.1	
清水荘前 (秋川)		8.1	0.7	2.0	11.5	
引田堰 (秋川)		8.0	0.6	1.0	11.6	1,625
秋留橋 (秋川)		8.0	0.6	2.0	11.5	
東秋川橋 (秋川)		7.6	0.7	3.0	12.3	1,370
舞知川 (秋川合流点)		7.7	0.9	2.0	11.0	
小宮小前 (養沢川)		7.8	0.6	1.0	12.0	
観音橋 (平井川)		8.3	0.9	2.0	11.7	1,700
小宮久保橋 (平井川)		8.1	0.8	1.0	11.6	
新開橋 (平井川)		7.8	0.9	1.5	11.2	
多西橋 (平井川)		8.1	0.8	2.0	11.7	1,575
鯉川橋 (鯉川)		7.6	1.0	2.0	10.9	
氷沢川ヒル橋 (氷沢川)		7.6	1.0	1.3	11.6	
参考値(※)		6.5~8.5	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MPN/100ml以下

(※) 参考値は河川A類型（平井川）の環境基準値である。

＜平成 23 年度 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質分析調査＞

採取日 平成 24 年 2 月 16・17 日

項目・単位	PH	BOD	全窒素	アンモニア性窒素	大腸菌群数
調査場所	—	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
山田八幡神社裏	6.5	<0.5	5.18	0.01	21
真城寺	6.6	<0.5	4.54	<0.01	17
白滝神社	7.0	<0.5	4.98	<0.01	26
牛沼287	6.6	<0.5	3.46	<0.01	27
雨間698	6.5	<0.5	3.44	<0.01	46
秋川グリーンスポーツ公園前	5.6	<0.5	7.09	0.02	140
小川820	6.4	<0.5	7.20	<0.01	110
平沢617	6.1	<0.5	6.99	<0.01	140
広済寺付近	5.9	<0.5	7.41	0.01	130
二宮お滝	6.1	<0.5	7.67	<0.01	130
二宮神社お池	6.0	<0.5	8.25	0.02	79
八雲神社	6.2	<0.5	7.71	0.05	49
草花公園	6.1	<0.5	7.84	0.02	26
草花1127	5.7	<0.5	4.36	<0.01	46
草花小学校西	7.1	0.8	4.06	<0.01	49
菅生夫婦橋下	6.7	0.6	8.15	<0.01	170
折立坂	6.8	0.6	4.23	0.02	70
南秋留小横	—	—	—	—	—
ミユキ組宿舎(西)	7.8	<0.5	3.83	0.02	33
舞知川	8.4	0.5	7.84	0.06	70
広済寺下	7.2	<0.5	7.45	0.02	170
玉見ヶ崎公園隣	7.5	<0.5	7.44	0.02	79
養沢川	7.8	0.6	3.32	0.02	110
盆堀川	7.3	0.6	3.62	0.01	70
入野沢	7.4	0.9	2.38	0.01	49
北裏水路	7.5	0.8	3.13	0.02	110
樽沢	7.6	1.9	3.97	0.04	140
宮の入沢	7.3	0.5	2.52	<0.01	170
横沢	7.0	0.5	2.92	0.03	130
引谷川	7.8	0.6	1.67	0.05	49
溝ッ堀	7.3	1.5	4.60	0.06	70
北川原	7.5	1.4	2.92	0.11	49
ふれあい橋	7.7	2.8	3.49	0.11	140
鯉川合流	7.5	0.8	3.06	<0.01	79
氷沢川	7.2	1.4	4.34	0.01	110
新開橋下	7.8	0.6	2.55	0.02	79
参考値(※)	6.5~8.5	2mg/l以下	基準なし	0.1mg/l以下	1,000MPN/100ml以下

(※) 湧水の環境基準がないため、河川A類型(平井川)の環境基準値を参考値として記載する。

＜平成 23 年度 地下水調査結果＞

調査日 平成 23 年 4 月 22 日

調査項目 \ 調査場所	草花 1	草花 2	野 辺	雨 間	浏 上	伊 奈	留 原	環境基準
トリクロロエチレン (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03
テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.3

＜平成 23 年度 二酸化窒素調査結果＞

(単位 ppm)

調査地点 \ 調査日程	5/18~19	9/7~8	11/7~8	2/14~15
野辺交差点	0.023	0.023	0.016	0.026
小川交差点	0.027	0.027	0.017	0.021
二宮本宿交差点	0.021	0.025	0.018	0.027
氷沢橋交差点	0.015	0.015	0.014	0.022
菅生交差点	0.019	0.015	0.016	0.020
上菅生バス停	0.006	0.005	0.007	0.010
瀬戸岡交差点	0.022	0.020	0.018	0.024
西秋留交差点	0.015	0.016	0.016	0.022
秋川駅西踏切	0.029	0.021	0.018	0.021
油平交差点	0.024	0.022	0.019	0.024
秋留橋	0.027	0.021	0.017	0.021
浏上交差点	0.013	0.014	0.015	0.023
山田交差点	0.013	0.012	0.013	0.016
留原交差点	0.008	0.007	0.009	0.010
小中野交差点	0.008	0.006	0.006	0.008
十里木交差点	0.004	0.006	0.008	0.009
青木平橋入口	0.007	0.001	0.005	0.008
小宮小学校入口	0.002	0.007	0.003	0.005
五日市出張所	0.005	0.003	0.004	0.008
東町交差点	0.014	0.015	0.011	0.013
武蔵五日市駅前	0.016	0.015	0.011	0.014
小机バス停	0.021	0.022	0.017	0.017

(※) 環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.04~0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下

<平成 23 年度 一般大気調査結果>

測定日 平成 24 年 1 月 23~24 日

調査地点	調査結果 (mg/m ³)
屋城小学校	0.0111
農業会館	0.0123
一の谷児童館	0.0051
いきいきセンター	0.0046
阿伎留医療センター	0.0098
秋川給食センター	0.0066
秋川衛生組合	0.0080
野辺地内	0.0061
草花地内	0.0056
あきる野市役所	0.0105
五日市センター	0.0162
留原自治会館	0.0045
五日市出張所	0.0117
横沢クラブ	0.0080
ファインプラザ	0.0104
参考基準値	0.1000

4 放射線・放射性物質測定結果

(1) 空間放射線量測定結果（市内 68 か所）

測定機器：シンチレーション式サーバイメータ DoseRAE2 PRM-1200

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1 地点につき5回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

単位： $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

測定日	天候	施設名	測定地点	測定値		備考
				地上5cm	地上1m	
7月4日	晴	東中学校		0.07	0.07	
	曇	草花小学校		0.07	0.05	
	晴	御堂中学校		0.05	0.05	
		多西小学校		0.04	0.04	
	曇	秋多中学校		0.06	0.06	
		南秋留小学校		0.07	0.07	
	晴	屋城小学校		0.05	0.05	
	曇	前田小学校		0.07	0.07	
		東秋留小学校		0.06	0.05	
		西中学校		0.06	0.07	
		一の谷小学校		0.07	0.08	
西秋留小学校			0.07	0.07		
7月5日	晴	増戸小学校		0.05	0.04	
		五日市小学校		0.06	0.06	
		五日市中学校		0.05	0.06	
		戸倉小学校		0.04	0.05	
		小宮小学校		0.05	0.04	
		市民運動ひろば		0.06	0.06	
		秋川グリーンスポーツ公園		0.05	0.05	
		小和田グラウンド		0.07	0.07	
7月6日	晴	多西児童館		0.07	0.04	
		前田児童館		0.08	0.08	コンクリート上
		若竹児童館		0.07	0.07	
		南秋留児童館		0.06	0.05	アスファルト上
		秋留台学童クラブ		0.06	0.05	アスファルト上

測定日	天候	施設名	測定地点	測定値		備考
				地上5cm	地上1m	
7月6日	晴	若葉児童館		0.06	0.06	
	曇	一の谷児童館		0.08	0.08	アスファルト上
		戸倉児童クラブ		0.10	0.09	アスファルト上
		小宮児童クラブ		0.10	0.09	アスファルト上
7月7日	曇	五日市学童クラブ		0.08	0.08	アスファルト上
		屋城保育園		0.08	0.08	
		神明保育園		0.08	0.07	
		すぎの子保育園		0.09	0.09	
		仲田公園		0.09	0.09	
		草花台パークハイッA公園		0.09	0.08	
		千代原公園		0.09	0.08	草地上
		楓ヶ原公園		0.09	0.08	
		森の下公園		0.08	0.08	
		小峰台公園	グラウンド	0.08	0.09	
7月8日	曇	あきる野市役所	正面玄関前	0.12	0.13	御影石平板上
7月11日	晴	五日市ひろば		0.08	0.06	
		秋川溪谷瀬音の湯		0.05	0.06	鉄平石敷上
		あきる野ふるさと工房		0.06	0.06	
		山田グラウンド		0.05	0.04	
		戸倉運動場		0.06	0.07	
		秋川ファーマーズセンター		0.05	0.06	
		五日市ファーマーズセンター		0.06	0.04	アスファルト上
		農業会館		0.06	0.06	
		市民農園（森ノ上農園）		0.05	0.04	
		市民農園（上ノ台農園）		0.03	0.04	
		草花公園		0.08	0.08	草地上
7月12日	晴	二宮地区会館		0.07	0.05	アスファルト上
		草花台会館		0.05	0.06	アスファルト上
		菅生会館		0.04	0.06	アスファルト上
		代継会館		0.07	0.08	

測定日	天候	施設名	測定地点	測定値		備考
				地上5cm	地上1m	
7月12日	晴	網代会館		0.06	0.06	
		深沢会館		0.05	0.05	
		小中野会館		0.06	0.06	
		盆堀自治会館		0.06	0.07	
		下養沢会館		0.07	0.07	
		上養沢自治会館		0.12	0.10	砕石敷き上
7月13日	晴	あきる野保健相談所		0.09	0.09	アスファルト上
		菅生交流会館		0.06	0.07	
		開戸センター		0.06	0.06	アスファルト上
		萩野センター		0.06	0.06	アスファルト上
		五日市センター		0.06	0.06	アスファルト上
		秋留野公園		0.05	0.04	
		早道場公園		0.05	0.05	

(2) 定点6か所の空間放射線量測定結果

・平成23年8月3日～11月9日

測定施設の内、市役所（正面玄関前）は御影石平板上で測定、その他は土が露出している地点で測定。

測定機器：DoseRAE2 PRM-1200

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1地点につき5回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

・平成23年11月16日～

地上5センチメートルの測定値は、測定施設の雨どい下や側溝、植え込み、砂場などで測定。

測定機器：シンチレーション式サーベイメータ

「HORIBA PA-1000」及び「日立アロカメディカル TCS-172B」

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1地点につき5回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

※地上5センチメートルの高さで毎時0.23マイクロシーベルト（年間1ミリシーベルト相当）を超えている地点については、除染（表土除去など）を実施している。

<平成23年8月3日~11月9日>

単位：μSv/時間

測定日	天候	測定地点	施設名					
			屋城 保育園	市民運動 ひろば(中央公 民館北側)	市役所 (正面玄関前)	楓ヶ原 公園	五日市 ひろば	すぎの子 保育園
8月3日	曇時々晴	地上1m	0.07	0.07	0.13	0.10	0.06	0.07
		地上5cm	0.08	0.08	0.13	0.09	0.06	0.06
8月10日・11日	晴	地上1m	0.05	0.06	0.10	0.08	0.06	0.06
	晴のち曇	地上5cm	0.05	0.06	0.13	0.09	0.06	0.05
8月17日	晴	地上1m	0.05	0.06	0.13	0.07	0.06	0.06
		地上5cm	0.06	0.05	0.13	0.07	0.06	0.06
8月23日	曇時々晴	地上1m	0.07	0.07	0.13	0.09	0.09	0.08
		地上5cm	0.07	0.06	0.12	0.07	0.09	0.07
8月30日	晴	地上1m	0.07	0.04	0.13	0.07	0.08	0.09
		地上5cm	0.05	0.04	0.12	0.08	0.08	0.07
9月6日	晴	地上1m	0.08	0.07	0.10	0.08	0.06	0.08
		地上5cm	0.09	0.08	0.12	0.09	0.07	0.08
9月15日	晴	地上1m	0.03	0.04	0.11	0.09	0.06	0.06
		地上5cm	0.05	0.04	0.12	0.08	0.07	0.06
9月20日	雨	地上1m	0.07	0.07	0.12	0.08	0.09	0.08
		地上5cm	0.08	0.08	0.13	0.09	0.09	0.09
9月28日	晴	地上1m	0.06	0.05	0.13	0.08	0.08	0.08
		地上5cm	0.07	0.06	0.13	0.09	0.09	0.09
10月6日	晴	地上1m	0.07	0.07	0.12	0.07	0.06	0.06
		地上5cm	0.06	0.08	0.13	0.08	0.06	0.05
10月12日	晴	地上1m	0.08	0.07	0.12	0.07	0.08	0.06
		地上5cm	0.08	0.08	0.11	0.07	0.09	0.09
10月19日	曇	地上1m	0.08	0.07	0.13	0.09	0.11	0.08
		地上5cm	0.08	0.08	0.14	0.10	0.10	0.08
10月27日・28日	晴	地上1m	0.07	0.07	0.12	0.09	0.09	0.07
		地上5cm	0.08	0.07	0.11	0.09	0.09	0.08
11月2日	晴	地上1m	0.07	0.07	0.12	0.08	0.10	0.07
		地上5cm	0.07	0.09	0.12	0.08	0.11	0.08
11月9日	晴	地上1m	0.08	0.08	0.12	0.09	0.10	0.09
		地上5cm	0.08	0.07	0.11	0.09	0.10	0.09

<平成23年11月16日～平成24年3月28日> ※施設ごとに掲載

単位：μSv/時間

施設名		屋城保育園						
測定地点			①	②	③	④	⑤	
	中心点	中心点	避難用滑り台横	入口部分側溝	砂場	側溝(南東)	植込(東)	
高さ	1m	5cm						
測定値(除染後値)	11月16日	0.07	0.07	0.10	0.11	0.08	0.10	0.22
	11月24日	0.08	0.08	0.10	0.10	0.08	0.12	0.22
	12月1日	0.08	0.09	0.11	0.11	0.10	0.11	0.21
	12月7日	0.07	0.08	0.10	0.12	0.08	0.10	0.20
	12月14日	0.08	0.08	0.10	0.10	0.07	0.11	0.26 (0.16)
	12月21日	0.08	0.08	0.12	0.10	0.08	0.09	0.12
	平成24年 1月6日	0.07	0.08	0.11	0.10	0.08	0.09	0.12
	1月11日	0.07	0.08	0.12	0.10	0.08	0.08	0.13
	1月18日	0.07	0.07	0.10	0.10	0.09	0.09	0.18
	1月25日	0.07	0.08	0.11	0.10	0.09	0.09	0.12
	2月1日	0.08	0.08	0.11	0.09	0.07	0.09	0.13
	2月8日	0.07	0.08	0.09	0.10	0.08	0.08	0.10
	2月15日	0.08	0.07	0.10	0.10	0.08	0.09	0.11
	2月22日	0.07	0.08	0.10	0.09	0.08	0.09	0.12
	3月7日	0.07	0.08	0.10	0.09	0.07	0.08	0.11
	3月14日	0.07	0.07	0.11	0.09	0.08	0.08	0.10
3月21日	0.07	0.07	0.11	0.09	0.07	0.09	0.13	
3月28日	0.07	0.08	0.09	0.09	0.07	0.08	0.11	

単位：μSv/時間

施設名		市民運動広場（中央公民館北側）						
測定地点	中心点	中心点	① 雨水吸込槽（南東）	② 雨水吸込槽（北東）	③ 雨水集水ます（南西）	④ プレハブ小屋雨どい下	⑤ 枝葉置場	
	高さ	1m	5cm					
測定値（除染後値）	11月16日	0.06	0.08	0.09	0.09	0.12	0.16	0.20
	11月24日	0.07	0.08	0.09	0.09	0.09	0.16	0.21
	12月1日	0.08	0.09	0.10	0.10	0.10	0.18	0.18
	12月7日	0.07	0.08	0.09	0.09	0.09	0.17	0.16
	12月14日	0.07	0.07	0.08	0.09	0.10	0.15	0.18
	12月21日	0.07	0.08	0.08	0.08	0.11	0.22	0.24 (0.15)
	平成24年 1月6日	0.08	0.08	0.08	0.08	0.11	0.21	0.16
	1月11日	0.07	0.07	0.08	0.08	0.10	0.22	0.15
	1月18日	0.07	0.08	0.08	0.08	0.10	0.21	0.19
	1月25日	0.06	0.07	0.08	0.08	0.10	0.12	0.20
	2月1日	0.06	0.05	0.07	0.08	0.10	0.14	0.18
	2月8日	0.06	0.07	0.07	0.08	0.09	0.20	0.14
	2月15日	0.07	0.07	0.08	0.08	0.10	0.19	0.16
	2月22日	0.07	0.06	0.08	0.07	0.08	0.21	0.16
	3月7日	0.07	0.06	0.08	0.08	0.10	0.17	0.17
	3月14日	0.06	0.06	0.08	0.08	0.08	0.20	0.13
	3月21日	0.06	0.06	0.07	0.08	0.10	0.22	0.15
3月28日	0.07	0.07	0.08	0.08	0.08	0.13	0.16	

単位：μSv/時間

施設名		市役所					
測定地点			①	②	③	④	
	中心点	中心点	雨水集水ます（南東）	芝生（駐車場北）	別館地下階段下	雨水集水ます（別館北）	
高さ	1m	5cm					
測定値（除染後値）	11月17日	0.12	0.15	0.08	0.08	0.16	0.06
	11月24日	0.14	0.18	0.09	0.08	0.17	0.08
	12月1日	0.14	0.17	0.09	0.08	0.15	0.08
	12月7日	0.13	0.18	0.08	0.07	0.15	0.08
	12月14日	0.14	0.19	0.08	0.08	0.16	0.08
	12月21日	0.14	0.18	0.08	0.08	0.14	0.08
	平成24年 1月6日	0.14	0.18	0.08	0.08	0.16	0.08
	1月11日	0.13	0.16	0.08	0.07	0.12	0.08
	1月18日	0.13	0.18	0.08	0.08	0.09	0.09
	1月25日	0.14	0.14	0.08	0.08	0.12	0.08
	2月1日	0.14	0.18	0.08	0.09	0.14	0.09
	2月8日	0.13	0.16	0.08	0.08	0.14	0.08
	2月15日	0.13	0.17	0.08	0.08	0.15	0.08
	2月22日	0.13	0.17	0.08	0.08	0.15	0.08
	3月7日	0.13	0.11	0.08	0.07	0.11	0.08
	3月14日	0.13	0.17	0.08	0.07	0.10	0.08
	3月21日	0.13	0.17	0.09	0.08	0.14	0.08
3月28日	0.13	0.18	0.09	0.08	0.12	0.08	

単位：μSv/時間

施設名		楓ヶ原公園					
				①	②	③	④
測定地点	中心点	中心点	雨水集水ます (南東)	雨水集水ます (北東)	ブランコ裏	砂場	
	高さ	1m	5cm				
測定値 (除染後値)	11月16日	0.09	0.09	0.15	0.08	0.10	0.08
	11月24日	0.09	0.09	0.15	0.08	0.09	0.08
	12月1日	0.11	0.12	0.16	0.09	0.10	0.09
	12月7日	0.10	0.10	0.16	0.08	0.10	0.08
	12月14日	0.09	0.10	0.15	0.07	0.09	0.08
	12月21日	0.09	0.10	0.15	0.08	0.10	0.09
	平成24年 1月6日	0.08	0.09	0.14	0.08	0.10	0.08
	1月11日	0.09	0.10	0.15	0.08	0.09	0.08
	1月18日	0.09	0.09	0.08	0.08	0.10	0.08
	1月25日	0.08	0.08	0.08	0.07	0.09	0.07
	2月1日	0.08	0.08	0.08	0.08	0.10	0.08
	2月8日	0.09	0.10	0.08	0.08	0.10	0.09
	2月15日	0.09	0.09	0.08	0.08	0.10	0.08
	2月22日	0.08	0.08	0.08	0.07	0.09	0.08
	3月7日	0.09	0.09	0.08	0.07	0.10	0.08
	3月14日	0.09	0.10	0.08	0.07	0.09	0.07
	3月21日	0.08	0.08	0.08	0.07	0.09	0.07
3月28日	0.08	0.09	0.08	0.07	0.09	0.07	

単位：μSv/時間

施設名		五日市ひろば					
				①	②	③	④
測定地点	中心点	中心点	雨水集水ます（北西）	ベンチ前（南）	トイレ横	芝生（北）	
	高さ	1m	5cm				
測定値（除染後値）	11月16日	0.10	0.11	0.11	0.15	0.21	0.13
	11月24日	0.11	0.12	0.12	0.14	0.20	0.14
	12月1日	0.14	0.14	0.13	0.16	0.15	0.12
	12月7日	0.11	0.12	0.12	0.15	0.10	0.13
	12月14日	0.11	0.12	0.12	0.15	0.11	0.13
	12月21日	0.11	0.12	0.12	0.14	0.12	0.13
	平成24年 1月6日	0.11	0.12	0.12	0.15	0.12	0.13
	1月11日	0.11	0.12	0.12	0.15	0.11	0.13
	1月18日	0.10	0.12	0.12	0.14	0.12	0.12
	1月25日	0.10	0.11	0.12	0.13	0.14	0.12
	2月1日	0.11	0.12	0.12	0.13	0.11	0.10
	2月8日	0.11	0.12	0.11	0.13	0.11	0.13
	2月15日	0.11	0.12	0.12	0.14	0.12	0.13
	2月22日	0.11	0.11	0.11	0.14	0.14	0.12
	3月7日	0.11	0.12	0.11	0.13	0.10	0.10
	3月14日	0.11	0.12	0.10	0.14	0.11	0.12
	3月21日	0.11	0.12	0.10	0.14	0.11	0.13
3月28日	0.08	0.11	0.08	0.13	0.11	0.12	

単位：μSv/時間

施設名		すぎの子保育園						
測定地点			①	②	③	④	⑤	
	中心点	中心点	雨水吸込槽（東）	雨水集水ます（南東）	砂場	樹木下（西）	雨どい下（北側3地点の最高数値）	
高さ	1m	5cm						
測定値（除染後値）	11月16日	0.07	0.08	0.11	0.11	0.07	0.13	0.67 (0.13)
	11月24日	0.07	0.07	0.10	0.11	0.08	0.09	0.15
	12月1日	0.08	0.08	0.12	0.12	0.08	0.14	0.18
	12月7日	0.07	0.08	0.12	0.10	0.08	0.13	0.16
	12月14日	0.08	0.08	0.11	0.11	0.08	0.14	0.21
	12月21日	0.07	0.08	0.11	0.10	0.09	0.13	0.24 (0.14)
	平成24年 1月6日	0.07	0.08	0.11	0.11	0.08	0.14	0.12
	1月11日	0.07	0.08	0.11	0.11	0.08	0.10	0.12
	1月18日	0.07	0.08	0.10	0.11	0.06	0.10	0.12
	1月25日	0.07	0.08	0.10	0.10	0.06	0.10	0.11
	2月1日	0.07	0.07	0.10	0.10	0.06	0.10	0.12
	2月8日	0.07	0.08	0.10	0.11	0.07	0.10	0.12
	2月15日	0.07	0.07	0.11	0.10	0.07	0.12	0.12
	2月22日	0.07	0.08	0.10	0.10	0.07	0.12	0.12
	3月7日	0.07	0.07	0.10	0.10	0.07	0.10	0.12
	3月14日	0.07	0.08	0.11	0.10	0.07	0.11	0.12
	3月21日	0.07	0.07	0.10	0.10	0.06	0.10	0.12
	3月28日	0.07	0.07	0.11	0.10	0.07	0.09	0.12

(3) 山間部 8 か所の空間放射線量測定結果

測定機器：シンチレーション式サーバイメータ

「HORIBA PA-1000」及び「日立アロカメディカル TCS-172B」

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1地点につき5回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

測定日	施設名	測定地点	測定値		備考
			地上5cm	地上1m	
11月29日	横沢入管理棟	中心点	0.11	0.09	
	深沢会館	中心点	0.13	0.11	
	小峰台公園	中心点	0.15	0.12	
	戸倉会館	中心点	0.14	0.11	アスファルト上
	盆堀自治会館	中心点	0.14	0.12	
	西青木平橋	中心点	0.12	0.09	アスファルト上
	小宮会館	中心点	0.13	0.09	アスファルト上
	上養沢自治会館	中心点	0.14	0.12	砕石敷き
12月21日	横沢入管理棟	中心点	0.11	0.09	
	深沢会館	中心点	0.14	0.11	
	小峰台公園	中心点	0.15	0.12	
	戸倉会館	中心点	0.13	0.10	アスファルト上
	盆堀自治会館	中心点	0.14	0.12	
	西青木平橋	中心点	0.12	0.09	アスファルト上
	小宮会館	中心点	0.12	0.09	アスファルト上
	上養沢自治会館	中心点	0.14	0.12	砕石敷き
平成24年 1月26日	横沢入管理棟	中心点	0.09	0.08	
	深沢会館	中心点	0.13	0.10	
	小峰台公園	中心点	0.14	0.12	
	戸倉会館	中心点	0.13	0.11	アスファルト上
	盆堀自治会館	中心点	0.13	0.11	
	西青木平橋	中心点	0.12	0.09	アスファルト上
	小宮会館	中心点	0.13	0.09	アスファルト上
	上養沢自治会館	中心点	0.14	0.13	砕石敷き
2月23日	横沢入管理棟	中心点	0.11	0.10	
	深沢会館	中心点	0.13	0.11	
	小峰台公園	中心点	0.15	0.12	
	戸倉会館	中心点	0.12	0.10	アスファルト上
	盆堀自治会館	中心点	0.15	0.10	
	西青木平橋	中心点	0.11	0.12	アスファルト上
	小宮会館	中心点	0.13	0.10	アスファルト上
	上養沢自治会館	中心点	0.14	0.11	砕石敷き
3月25日	横沢入管理棟	中心点	0.10	0.09	
	深沢会館	中心点	0.13	0.11	
	小峰台公園	中心点	0.13	0.11	
	戸倉会館	中心点	0.11	0.10	アスファルト上
	盆堀自治会館	中心点	0.13	0.11	
	西青木平橋	中心点	0.12	0.10	アスファルト上
	小宮会館	中心点	0.11	0.09	アスファルト上
	上養沢自治会館	中心点	0.13	0.12	砕石敷き

(4) 市内公共施設等の空間放射線量測定結果

地上5センチメートルの測定値は、測定施設の雨どい下や側溝、植え込み、砂場などで測定。

測定値については、毎時0.23マイクロシーベルト（年間1ミリシーベルト相当）を超えた地点については測定地点を個別に記載。毎時0.23マイクロシーベルトを超えなかった測定地点は、施設ごとにまとめてその最大値を記載。

測定機器：シンチレーション式サーベイメータ

「HORIBA PA-1000」及び「日立アロカメディカル TCS-172B」

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1地点につき5回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

※地上5センチメートルの高さで毎時0.23マイクロシーベルト（年間1ミリシーベルト相当）を超えている地点については、除染（表土除去など）を実施した。除染実施後の測定値は（ ）で示す。

①学校等の空間放射線量測定結果（21施設）

単位： $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月22日	東秋留小学校	雨どい下（西側機械室）	0.23 (0.09)	—	除染掘削、埋戻し
		その他の地点（5地点）	0.09	0.06	
11月21日	多西小学校	6地点	0.10	0.07	
11月22日	西秋留小学校	雨どい下（体育館東側）	0.34 (0.13)	—	除染掘削、埋戻し
		その他の地点（5地点）	0.22	0.06	
	屋城小学校	6地点	0.12	0.07	
11月24日	南秋留小学校	6地点	0.19	0.07	
11月22日	草花小学校	6地点	0.16	0.08	
11月18日	一の谷小学校	6地点	0.14	0.08	
11月24日	前田小学校	6地点	0.20	0.07	
	増戸小学校	雨どい下（給食配膳室北側）	0.34 (0.11)	—	除染掘削、埋戻し
		その他の地点（5地点）	0.15	0.08	
	五日市小学校	雨どい下（体育館渡り廊下）	0.42 (0.12)	—	除染掘削、埋戻し
その他の地点（5地点）		0.11	0.07		
11月18日	戸倉小学校	雨どい下（体育館渡り廊下）	0.68 (0.12)	—	除染掘削、埋戻し
		その他の地点（5地点）	0.22	0.09	
	小宮小学校	雨どい下（体育館南側）	0.38 (0.13)	—	除染掘削、埋戻し
		その他の地点（5地点）	0.19	0.09	
11月17日	秋多中学校	6地点	0.21	0.07	
11月22日	東中学校	6地点	0.18	0.07	

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月24日	西中学校	雨どい下 (プレハブ倉庫)	0.36 (0.19)	—	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点 (5 地点)	0.12	0.09	
11月21日	御堂中学校	雨どい下 (武道場西側)	0.26 (0.13)	—	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点 (5 地点)	0.11	0.08	
11月24日	増戸中学校	6 地点	0.13	0.08	
	五日市中学校	落ち葉だまり (体育館入口)	0.38 (0.14)	—	除染 落ち葉除去
		その他の地点 (5 地点)	0.11	0.08	
11月28日	五日市学校 給食センター	雨どい下 (玄関横)	0.58 (0.13)	-	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点 (4 地点)	0.21	-	
	秋川第一学校給食 センター	5 地点	0.16	-	
	秋川第二学校給食 センター	5 地点	0.12	-	

②保育園・児童館の空間放射線量測定結果 (10 施設)

単位： $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月28日	神明保育園	5 地点	0.10	0.08	
11月22日	屋城児童館		0.13	0.09	
	野辺地区会館 (前田児童館)		0.15	0.09	
	若竹児童館		0.12	0.09	
	南秋留児童館		0.11	0.10	
	若葉児童館		0.16	0.08	
	一の谷児童館		0.18	0.10	
11月24日	増戸会館 (増戸学童クラブ)	5 地点	0.16	0.10	
	草花児童センター	雨どい下 (建物南)	0.30 (0.16)	-	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点 (4地点)	0.10	0.08	
	多西児童館	5 地点	0.13	0.10	

③公園の空間放射線量測定結果（67 施設）

単位： $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月17日	清水公園	3 地点	0.11	0.09	
	玉見ヶ崎公園	3 地点	0.09	0.08	
	寺前公園	3 地点	0.08	0.06	
	谷後公園	3 地点	0.09	0.08	
	屋城公園	3 地点	0.07	0.07	
	仲田公園	3 地点	0.10	0.10	
	平沢下川原公園	3 地点	0.12	0.10	
	前田公園	3 地点	0.08	0.07	
	福寿公園	3 地点	0.11	0.09	
	森山公園	3 地点	0.10	0.09	
11月18日	大塚公園	3 地点	0.11	0.09	
	八雲公園	3 地点	0.11	0.10	
	上塚場公園	3 地点	0.10	0.09	
	八幡公園	3 地点	0.11	0.10	
	さくら公園	3 地点	0.10	0.10	
	早道場公園	3 地点	0.11	0.08	
	大塚原っぱ公園	3 地点	0.10	0.09	
	もくせい公園	3 地点	0.10	0.10	
	秋留野広場	3 地点	0.11	0.11	
	萩野公園	3 地点	0.09	0.08	
	秋留野公園	3 地点	0.09	0.09	
11月21日	草花公園	雨どい下（クラブハウス）	0.37 (0.13)	-	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点（3 地点）	0.09	0.09	
	千代原公園	3 地点	0.11	0.11	
	横吹公園	3 地点	0.11	0.07	
	石神公園	3 地点	0.13	0.12	

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月21日	森ノ根公園	3地点	0.08	0.08	
11月22日	高尾公園	3地点	0.14	0.10	
	小峰台公園	3地点	0.12	0.09	
	東山公園	3地点	0.15	0.10	
11月25日	小倉公園	3地点	0.12	0.10	
11月28日	森の下公園	3地点	0.09	0.09	
11月17日	前田小公園①	1地点	0.11	-	
	前田小公園②	1地点	0.08	-	
	前田緑地①	1地点	0.07	-	
	前田緑地②	1地点	0.09	-	
	前田緑地③	1地点	0.09	-	
	前田緑地④	1地点	0.09	-	
	日室塚公園	1地点	0.11	0.10	
	さつき野いこいの 小路公園	1地点	0.08	-	
11月18日	雨間グリーンタウンA (公園)	1地点	0.11	-	
	雨間グリーンタウンB (公園)	2地点	0.11	0.10	
	緑の里公園	1地点	0.08	-	
	中郷公園	2地点	0.09	0.08	
	油平南公園	1地点	0.08	-	
	なかよし公園	1地点	0.11	-	
11月21日	草花台パークハイ ツA(公園)	2地点	0.11	0.10	
	草花台パークハイ ツB(公園)	2地点	0.10	0.09	
	草花台パークハイ ツC(公園)	2地点	0.10	0.10	
	北小宮公園	1地点	0.11	-	
	ひさわがわ遊園	1地点	0.11	0.10	
	山ノ神公園	1地点	0.10	0.08	
	上賀多公園	1地点	0.12	0.11	
	リバーサイドA公園	2地点	0.11	0.10	

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月21日	リバーサイドB公園	2地点	0.15	0.10	
	リバーサイドC公園	2地点	0.11	0.11	
11月22日	入野沢遊園	1地点	0.08	-	
	松原遊園	1地点	0.10	0.10	
	雪沢公園	2地点	0.09	0.09	
	三内遊園地	2地点	0.11	0.11	
	北伊奈公園	2地点	0.08	0.06	
	峯谷戸遊園	1地点	0.11	0.10	
11月24日	草花住宅遊び場	2地点	0.09	-	
	阿岐野公園	2地点	0.08	0.07	
	原ノ下公園	2地点	0.08	0.07	
11月28日	小峰台緑地	2地点	0.12	0.10	
平成24年 2月24日	都立秋留台公園	9地点	0.13	-	
	都立小峰公園	8地点	0.12	-	

④体育施設の空間放射線量測定結果（9施設）

単位： $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月24日	総合グラウンド	雨どい下（倉庫入口左側）	0.27 (0.17)	-	除染掘削、埋戻し
	総合グラウンド	雨どい下（倉庫北側）	0.25 (0.13)	-	除染掘削、埋戻し
	総合グラウンド	雨どい下（管理事務所入口左側）	0.23 (0.15)	-	除染掘削、埋戻し
	総合グラウンド	その他の地点（4地点）	0.08	-	
	小和田グラウンド	2地点	0.11	-	
	山田グラウンド	2地点	0.16	-	
	いきいきセンター	1地点	0.10	-	
	グリーンスポーツ公園	1地点	0.09	-	
	市民球場	1地点	0.09	-	
	市民プール	1地点	0.12	-	

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月24日	油平クラブハウス	1地点	0.11	-	
	秋川体育館	西側植栽付近3地点の最大値	0.54 (0.13)	-	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点(3地点)	0.12	-	

⑥社会教育施設等の空間放射線量測定結果(13施設)

単位: $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月25日	五日市郷土館	雨どい下(南東)	0.56 (0.19)	-	除染 掘削、埋戻し
		雨どい下(東)	0.27 (0.19)	-	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点(7地点)	0.15	-	
	旧市倉家住宅	8地点	0.13	-	
	二宮考古館	雨どい下(入口)	0.26 (0.14)	-	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点(5地点)	0.15	-	
	第一文化財倉庫	3地点	0.12	-	
	第二文化財倉庫	4地点	0.17	-	
	菅生第一文化財倉庫	2地点	0.16	-	
	菅生第二文化財倉庫	雨どい下(南西)	0.24 (0.19)	-	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点(2地点)	0.22	-	
	アートスタジオ五日市	入口側溝	0.30 (0.18)	-	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点(8地点)	0.18	-	
11月26日	東部図書館エル	8地点	0.12		
	五日市図書館	5地点	0.17		
	中央図書館増戸分室	2地点	0.13		
11月27日	中央図書館	5地点	0.13		
11月26日	秋川キララホール	5地点	0.18		

⑥福祉関係施設の空間放射線量測定結果（9 施設）

単位：μSv/時間

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月24日	五日市保健センター (五日市学童クラブ)	雨どい下 4 地点の最大値	0.46 (0.15)	-	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点 (4 地点)	0.10	0.11	
12月7日	秋川ふれあいセンター	5 地点	0.16	0.10	
	菅生交流会館	5 地点	0.22	0.10	
12月14日	五日市希望の家	雨どい下 (B 棟南東角)	0.69 (0.16)	0.16	除染 掘削、埋戻し
		雨どい下 (西側カーポート) 2 地点の最大値	0.74 (0.17)	0.13	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点 (3 地点)	0.13	-	
	秋川健康会館	5 地点	0.18	0.12	
12月13日	五日市センター	3 地点	0.12	0.10	
	開戸センター	4 地点	0.13	0.09	
	萩野センター	3 地点	0.12	0.11	
12月5日	あきる野保健相談所	雨どい下 (北西倉庫)	0.33 (0.11)	-	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点 (4 地点)	0.16	-	

⑦地区会館・市営住宅等の空間放射線量測定結果（29 施設）

単位：μSv/時間

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
12月15日	戸倉会館	4 地点	0.15	-	
	小宮会館	4 地点	0.14	-	
	楓ヶ原会館	4 地点	0.13	-	
	千代里会館	4 地点	0.14	-	
	代継会館	4 地点	0.13	-	
	鳥居場会館	5 地点	0.15	-	
	玉見会館	4 地点	0.13	-	
	野辺地区会館	4 地点	0.16	-	
	二宮地区会館	4 地点	0.15	-	

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
12月15日	草花台会館	4 地点	0.14	-	
	御堂会館	4 地点	0.13	-	
12月16日	増戸会館	5 地点	0.15	-	
	北伊奈会館	雨どい下 (東側)	0.38 (0.14)	-	除染 掘削、埋戻し
その他の地点 (4地点)		0.11	-		
11月30日	五日市出張所	2 地点	0.09	-	
	五日市会館	3 地点	0.20	-	
12月21日	引田区画整理相談事務所	雨どい下 2 地点の最大値	0.42 (0.18)	0.10	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点 (2 地点)	0.10	0.09	
12月6日	折立住宅	2 地点	0.13	-	
	瀬戸岡住宅	2 地点	0.17	-	
	野辺住宅	2 地点	0.12	-	
12月7日	油平住宅	2 地点	0.10	-	
12月6日	平沢住宅	2 地点	0.15	-	
12月7日	秋留野ハイツ	3 地点	0.13	-	
12月6日	雨間ハイツ	2 地点	0.14	-	
	増戸住宅	2 地点	0.16	-	
	館谷住宅	2 地点	0.15	-	
	中村住宅	雨どい下4地点の最大値	0.37 (0.15)	0.11	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点 (15 地点)	0.19	-	
	小中野住宅	雨どい下	0.31 (0.16)	0.10	除染 掘削、埋戻し
		その他の地点 (6 地点)	0.17	-	
	伊奈ハイツ	2 地点	0.13	-	
山田ハイツ	2 地点	0.15	-		

⑧農林・観光関係施設の空間放射線量測定結果（20 施設）

単位： $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
12月21日	秋川ファーマーズセンター	3 地点	0.17	-	
	五日市ファーマーズセンター	3 地点	0.15	-	
	農業会館	4 地点	0.12	0.10	
	戸倉運動場	6 地点	0.17	0.09	
	市民農園	森ノ上農園 3 地点	0.10	0.05	
	市民農園	上ノ台農園 2 地点	0.11	-	
	市民農園	上ノ台第2 農園 3 地点	0.13	-	
	市民農園	上ノ台第3 農園 4 地点	0.20	-	
12月5日	みなと区民の森環境学習施設	戸倉地内 3 地点	0.16	0.14	
	新宿の森あきる野付近	戸倉地内 2 地点	0.13	0.13	
	入山峠	戸倉地内八王子市行政界 3 地点	0.12	0.12	
	柿平橋付近	養沢地内 2 地点	0.15	0.13	
	金比羅山山頂付近	深沢地内南沢林道 2 地点	0.09	0.11	
12月26日	三ツ合鍾乳洞付近	2 地点	0.10	-	
	大岳鍾乳洞付近	2 地点	0.09	-	
12月9日	あきる野ふるさと工房	5 地点	0.13	0.12	
	秋川溪谷瀬音の湯	5 地点	0.22	0.09	
	秋川橋河川公園	雨どい下 3 地点の最大値	0.31 (0.18)	-	除染掘削、埋戻し
		その他の地点 (2 地点)	0.09	0.08	
	リバーサイドパークの谷	4 地点	0.18	0.11	
	秋川ふれあいランド	4 地点	0.15	0.09	

◎道路の空間放射線量測定結果（42 路線）

単位：μSv/時間

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月25日	市道養沢 160 号線 (養沢地内)	道路脇	0.14	-	
	農道本須軍道線 (養沢地内)	集水ます	0.12	-	
	市道養沢 275 号線 (乙津地内)	道路脇	0.12	-	
	市道乙津 146 号線 (乙津地内)	集水ます	0.10	-	
	市道乙津 624 号線 (乙津地内)	側溝開閉蓋	0.11	-	
	市道深沢線 (深沢地内)	道路脇	0.12	-	
	市道西戸倉・星竹線 (戸倉地内)	横断側溝	0.13	-	
	市道久保川原西戸倉線 (戸倉地内)	集水ます	0.10	-	
	市道盆堀線 (戸倉地内)	横断側溝	0.09	-	
	市道深沢線 (深沢地内)	道路脇	0.13	-	
	市道小机山下線 (入野地内)	道路脇	0.12	-	
	市道きょうね可山 前畑線 (館谷地内)	道路脇	0.11	-	
	市道番場竹の花線 (五日市地内)	道路脇	0.14	-	
	市道館谷五日市線 (小和田地内)	道路脇	0.12	-	
	市道留原 111 号線 (留原地内)	道路脇	0.12	-	
	市道横沢線 (横沢地内)	集水ます	0.12	-	
11月28日	市道横沢北伊奈線 (伊奈地内)	集水ます	0.10	-	
	市道高尾 31 号線 (高尾地内)	集水ます	0.12	-	
	市道上宿森ノ下線 (伊奈地内)	集水ます	0.10	-	
	市道館谷五日市線 (高尾地内)	集水ます	0.10	-	
	市道 454 号線 (菅生地内)	側溝開閉蓋	0.10	-	
	市道 I-12 号線 (引田地内)	集水ます	0.10	-	
	市道山田 1 号線 (山田地内)	集水ます	0.11	-	
	市道 133 号線 (洲上地内)	集水ます	0.11	-	
	市道 1594 号線 (菅生地内)	集水ます	0.09	-	
	市道 420 号線 (菅生地内)	横断側溝	0.07	-	

測定日	施設名称	測定地点	測定値		備考
			地上5cm (除染後値)	地上1m	
11月28日	市道Ⅰ-1号線 (草花地内)	側溝開閉蓋	0.08	-	
	市道Ⅰ-9号線 (瀬戸岡地内)	集水ます	0.09	-	
	市道Ⅱ-25号線 (秋川五丁目地内)	集水ます	0.13	-	
	市道Ⅱ-16号 (油平地内)	集水ます	0.11	-	
	市道Ⅱ-9号線 (雨間地内)	集水ます	0.10	-	
	市道Ⅱ-4号線 (牛沼地内)	集水ます	0.09	-	
	市道197号線 (上代継地内)	集水ます	0.11	-	
11月29日	市道548号線 (草花地内)	側溝開閉蓋	0.08	-	
	市道Ⅰ-1号線 (草花地内)	集水ます	0.12	-	
	市道Ⅰ-2号線 (草花地内)	集水ます	0.10	-	
	市道1236号線 (野辺地内)	集水ます	0.10	-	
	市道Ⅱ-5号線 (二宮地内)	集水ます	0.10	-	
	市道Ⅱ-22号線 (野辺地内)	横断側溝	0.10	-	
	市道1039号線 (野辺地内)	集水ます	0.13	-	
	市道Ⅱ-15号線 (二宮地内)	集水ます	0.13	-	
	市道1565号線 (小川東一丁目地内)	集水ます	0.09	-	

(5) 食品の放射性物質検査結果

【検査対象】

- ①小・中学校や幼稚園・保育園等で使用される食材
- ②秋川と五日市のファーマーズセンターで販売される農産物
- ③瀬音の湯の直売所で販売される農産物

【検査項目】

「セシウム134」及び「セシウム137」

※放射性ヨウ素については半減期が8日と短く、すでに検出が認められておらず、規制の対象となっていないため記載はしていない。

【放射性物質検査の基準値】

放射性セシウムの暫定規制値		放射性セシウムの基準値（平成24年4月～）	
食品群	規制値(ベクレル/kg)	食品群	基準値(ベクレル/kg)
飲料水	200	飲料水	10
牛乳・乳製品	200	牛乳	50
野菜類	500	一般食品	100
穀類		乳児用食品	50
肉・卵・魚・その他			

※ベクレル/kg・・・1kg当たりの放射性物質の濃度

※検査の結果、放射性セシウムが基準値の半分より上回ったものは、登録検査機関で確定検査を行う。

【結果の見方】

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出限界値	検出結果	検出限界値
○月○日	学校給食センター	人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
//	//	キャベツ	神奈川県	11	10	13	10

- ・検査日……………検査を行った日
- ・対象施設……………試料を持ち込んだ施設（試料を使う施設）
- ・試料名……………検査に用いた試料
- ・産地……………試料の産地
- ・検出結果……………試料中の放射性物質の濃度。
検出限界値未満の場合には不検出、検出限界値以上の場合には数値を記載。
- ・検出限界値……………各測定における検出可能な最小数値のこと。（測定条件によって変化する。）

【検査結果（平成24年3月）】

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出限界値	検出結果	検出限界値
3月14日	学校給食センター	人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
3月15日	学校給食センター	鶏もも肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		豚もも肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
3月16日	屋城保育園	エノキダケ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
3月19日	神明保育園	玄米入りごはん	宮城県・岩手県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
3月19日	すぎの子保育園	鶏卵	青森県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・群馬県 埼玉県・東京都 千葉県・北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
3月21日	秋川ファーマーズセンター	ハウレンソウ	あきる野市 草花	不検出	11	不検出	10
		小松菜	あきる野市 草花	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市 草花	不検出	11	不検出	10
		大根菜	あきる野市 上ノ台	不検出	10	不検出	10
3月22日	五日市ファーマーズセンター	ハウレンソウ	あきる野市 山田	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	あきる野市 山田	不検出	10	不検出	10
		ネギ	あきる野市 山田	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市 網代	不検出	10	不検出	10
3月26日	五日市わかば保育園	人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ヨーグルト	—	不検出	10	不検出	10
		鶏卵	岩手県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ごはん	岩手県	不検出	10	不検出	10
3月27日	草花保育園	牛乳	—	不検出	10	不検出	10
		ハウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
3月28日	よつぎ第二保育園	米	山形県	不検出	10	不検出	10
		鶏卵	あきる野市	不検出	11	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	11	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	岩手県	不検出	11	不検出	10
3月29日	誠和保育園	牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道・東京都	不検出	11	不検出	10
		鶏卵	あきる野市 留原	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	神奈川県	不検出	10	不検出	10
3月30日	五日市保育園	ハウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		米	北海道・青森県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	群馬県	不検出	11	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10		

平成 23 年度 あきる野市環境白書

平成 24 年 12 月

編集・発行：あきる野市環境経済部環境政策課



あきる野市二宮 350 番地

電話 042-558-1111 (代)

<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>
